

ワンツーワークス #35

# 民衆が敵

「作・演出」 古城十忍

OneTwo-WORKS

## CAST

### 【官房情報調査室（官調）】

ノジマ・タクト [能島拓人]

クズネ・センジ [葛根宣司]

コザクラ・モモエ [小桜百恵]

オキツ・ケンタ [冲津健太]

ミナシ・レン [水梨 蓮]

アガタ・マキエ [阿方真喜恵]

### 【真星高等学校】

カイトウ・ユラ [海藤由良]

カブラギ・ミナミ [鏑木美波]

フタバ・チヒロ [双葉千尋]

サコウ・ヒトミ [酒匂仁美]

ハシヌキ・サトシ [半貫聡史]

カザミ・エリコ [風見江里子]

### 【人権理解を深める会】

カンノジ・アキラ [官司 暁]

ハザカイ・コトネ [端境琴音]

タテワキ・カノン [帯刀佳音]

イズミダ・コウタロウ [泉田孝太郎]

キツタカ・タカシ [橘高隆志]

### 【そのほか・黒目線の人たち】

民衆が敵

# 0

あちらこちらにパソコンの載ったデスクが見える。

そのパソコンの前に座っている人たち、誰もが黒目線で両目が見え隠されている。

列などには「カイトウ・ユラ」、立ち止まってスマホを見ている。やがて彼女が話し始めると、黒目線の人たちはパソコン画面を見つめ、彼女の言葉にキーボードを叩いて応じ始める。(以下、叩く強さは「\*」で示す)

## ユラ

もう……もう限界です。(\*\*)これまで何度かお伝えしたように……私は法を犯してはいません。(\*\*\*\*)道徳に悖るもとことも、人の道に反することも……これまで一度だつてしたことはありません。(\*\*\*\*)だから私が謝罪しなければいけない理由は今もつて何ひとつ思い当たらない。(\*\*\*\*)ここで謝罪してしまつたら私が私を裏切ることになる。自分で自分を貶めるおとしことになる。(\*\*\*\*)もちろん……私だつて小さな嘘をついたり、ちょっとした過ちを冒したことはありません。(\*)でもあなたたちがやっていることは大きな嘘です。取り返しのつかない過ちです。暴力です。(\*\*\*\*)言葉には言葉で、でも暴力の言葉には暴力ではない言葉で対抗しなければと私は思ってきましたし、実際そうしてきました。(\*\*)わかつてます。この融通の利かない私の性格が、かわいげのない物言

いが火に油を注がせ続けるんですよね。(\*\*\*\*\*)それをわかつていながらなんとか火の粉を振り払おうと私は懸命に努めてきたつもりです。(\*\*\*\*\*)でももう……限界です。(\*)これ以上は無理。(\*\*)どうぞこれからも存分に言いたいことを言ってください、書いてください、気の済むまで。気が晴れるまで。(\*\*\*\*\*)私は、(はあ、と息を整え)この世界からいなくなります。(\*\*\*\*\*)……この世界から……消えます。(\*\*\*\*\*)

キーを叩く音が響き渡るなか、ユラ、どっへともなく去っていく。

黒目線の人たちの姿もすでにない。

× × ×

黒っぽいスーツ姿の人々が現れ、音もなくデスクを移動させ始める。

その移動のさなか、鞆を肩から提げた「キッタカ・タカシ」が歩いてくる。

と一瞬にして、呼応するようにスーツ姿の人々の動きも止まる。静寂……。

人々は遠巻きに、パソコンの画面を通してキッタカの様子を注視している。

辺りを窺っていたキッタカ、スマホで電話をかけ、やや息を潜めて――

## キッタカ

今、行確されてる気がする。……行確。行動確認。つけられてるってことだよ。……確信はないけど、なんか視線が刺さる。そつちは？ ……嫌がらせとか抗議とか、圧力とか……全然？ コメントの書き込みも？

……あ、そう。いやこないだの集会、あの後からなんだよ。時折見られてるような、監視されてるような、そっちはホントに何も無いんだね？ 君自身にも？ ……（辺りを窺いながら）法に触れることなんてやってない。集会だって市民の権利。そうだろう？ ……いや、行く。今度の日曜も予定どおりやるべきだ。やらないと。……とにかくそっちに何かあったらあつたで教えてくれないか。……了解。じゃ。

キツカ、電話を切つて、改めて辺りを何度か窺い、去っていく。

と、その後ろから続いて「ジマ・タクト」が追っていく。

呼応するようにパソコンの人たちも再び音もなくデスクを移動させていく。

× × ×

【ムーヴメント】

外を歩いていて、ふと違和感を感じて立ち止まる。後ろを振り返ってみる。思わず身を隠そうとする。顔を隠す。

一転、集会で拳を突き上げ叫んでいる。探っていた相手の正体がわかつて驚天動地。相手に見られそうになって、さりげなくこまかす。

一転、怒りに震えて文句を言う。突然、大きな力の存在をはっきりと認識する。その正体に恐れおののく。

# 1

「静止画」が見える。

抗議集会に集まった人たち。マイクを持って叫ぶ者、プラカードを掲げる者、ピラを掲げる者などなど、そのデモ隊がアップになって映されている。

× × ×

玄関の上がり口のようなところ。鞆を手にユラ、奥の間のほうを見て立っている。と、ノジマ・タクト、ネクタイを締めつつ姿を見せて――

ノジマ

何だ？

ユラ

日曜日のことなんだけど。

ノジマ

忘れてないよ。ちゃんと空けてる。

ユラ

ごめん。キャンセル。申し訳ない。

ノジマ

なんで？

ユラ

どうしても外せない急用が入ったんだって。

ノジマ

えっ。

ユラ

だから仕切り直してことで再調整よろしく。

ノジマ

えっ。

ユラ

ごめんね。

ノジマ

えっ。

ユラ

じゃ行つてきます。

ノジマ

おいおいおい、ちょっと待てよ。

ユラ

なに？

ノジマ

おまえの惚れた男はそんないい加減なヤツなのか？

ユラ

いい加減じゃないよ、むしろその逆。

ノジマ

約束を守らない男は信用できない。

ユラ

お父さんだって急に仕事入ることよくあるでしょ、どうしても外せない急用だつて言ってるん——

ノジマ

こっちも外せない急用を無理して外したんだ、どうしても今度の日曜つて言うから。何の急用なんだ？

ユラ

何も聞いてないし聞かされてない。でもすつごく恐縮してた、きちんと謝つていてくれて。

ノジマ

謝るのも人任せか。責任感のないヤツだ。

ユラ

決めつけないでよ、まだ会つてもないのに。

ノジマ

いいか、その人がどんな人間なのかはその人の取る行動で大抵は——

ユラ

まだ会つてもない人からいきなり電話かかってきて、すみません、日曜日都合つかなくなりまして。それはそれでお父さん、怒るでしょう？へそ曲

げるでしょう？

ノジマ ……何カリカリしてるんだ？

ユラ 別に何も。

ノジマ もしかして学校でまたなんか揉めてるのか？

ユラ 私の仕事の話は今してない。あのね、彼はフリーランス。私は公務員。お父さんも公務員。立場が違うの。そこはわかつてあげてよ。あ、私もう遅れちゃう。(行こうと)

ノジマ 由良。何も問題ないんだよな？

ユラ 何が？

ノジマ 結婚するつもりなんだろ。二人の関係もいざれキャンセルってことになことは、ない。彼のほうがあなたの娘にぞつこんだから。行ってきまーす。

ユラ、足早に出ていく。ノジマ、何かが引つかりながら見送る。

## 2

と、スーツ姿の「クズネ・センジ」「オキツ・ケンタ」「コザクラ・モモエ」が現れる。

薄暗いオフィス。パソコンの載ったデスクがいくつも見える。「ミナシ・レン」はすでに自分のデスクに就いている。コザクラは手に文書を何枚か持っていて――

コザクラ (文書を渡しつつ) 能島さんのしまこれ、お手すきの時に拡散お願いします。

ノジマ 誰の指示？

コザクラ 阿方さんあがたですけど。

ノジマ 俺にこれをやれって阿方さんが言ったわけ？

コザクラ やれっていうか手伝ってもらってって。

ノジマ ……………。(突っ立ったまま文書を読む)

コザクラ (クズネに渡しつつ) お願いします。(オキツに差し出しつつ) 沖津くんはさっち優先

先でお願いします。あ、葛根さんくずねも優先で。今日中にできるだけバラま

てください。ツイッター、フェイスブック、なんでもいいから件数を稼げってこ

とです、今日中に。

ノジマ この藤巻教授ふじまきの件、もうケリついたんじゃないかなかった？

コザクラ まだ叩き足りないんじゃないですか？

クスネ (立ちあがって)でも藤巻教授は私大の先生だよ。民間の人だよな？

コザクラ それが今また風向きが微妙になってきたってことじゃないですか。

ノジマ 野党の議員が絡んできたのが気に入らないってことだな。(自分のデスクへ)

クスネ ……そういうことですか。(座る)

オキツ (自分のデスクに戻ったコザクラに小声で)小桜さん、コレもちろんやりますけど、この仕事つて達成感つてものがまるでないですよ？

コザクラ え何、愚痴？

オキツ こんなことで世論が動きます？

コザクラ 動かすためにやってるの。マスコミに負けたくないでしょ。

オキツ え、マスコミに張り合ってるんすか？

コザクラ 知ってる？ 帝都<sup>ていと</sup>新聞のネット版、毎日そこらじゅうのネットカフェ難民50人くらい雇って印象操作やらせてるんだから。

オキツ マジですか？

コザクラ 裏は取れてないけど。

オキツ いやいや俺らネカフェ難民じゃないし。れっきとした公務員だし。

ノジマ 公務員なら黙って仕事。

オキツ すいません。

コザクラ 黙って仕事。

その「アガタ・マキエ」が、オフィスに入ってくる。と、オフィスの全員が立ちあがる。

アガタ

座って。(面々が座るや)水梨くん、準備はできてる？

ミナシ

オッケーですよ、いつでも。

アガタ

じゃ、先に映像流すから見て。

ミナシ、キーを押す。途端に「静止画」のデモ隊が大きな声で動き出す。

マイクの人 (改)憲発議、絶対反対！

デモ隊 絶対反対！

マイクの人 憲法審査会、今すぐ解散！

デモ隊 今すぐ解散！ 即解散！ 今すぐ解散！ 即／

アガタ、手をあげる。ミナシが再びキーを押す、デモ隊は「静止画」に戻る。

アガタ

昨日、国会前で行われた憲法改正の反対集会。届出によるとデモの

主催団体は、清瀧大学のサークル、「人権理解を深める会」。

コザクラ

この人たち、大学生なんですか？

アガタ

もちろんそこは引つかかる。この画面でも、撮影された映像を全部見てもわかるけど、参加者の多くはとも学生には見えない。

ノジマ

つまり、横でいくつかの別の団体と繋がってるかもしれない。

アガタ

そう、大学のサークルは隠れ蓑として使われてる可能性を否定できない。そこで、我々でデモの参加者の経歴を洗うことにする。

オキツ

え、参加者何人いたんですか、まさか全員じゃないですよ。

アガタ

まずは、今の画面に映ってる中心メンバーと思われる5人。

オキツ

6人いますよ。

アガタ

公安のほうで既に予備調査は済ませてもらってる。

ミナシ

（静止画の人物を指し棒で示しつつ）左端から順に、「改悪やめろ」のプラカードを持つてるのが「イズミダ・コウタロウ、31歳」。その横で謎の微笑みを浮かべているのは「ハザカイ・コトネ、28歳」。マイクを持ってアジターターの役を担ってるのが、「キツタカ・タカシ、35歳」。一人飛ばして、メガホンを持って「絶対反対」の鉢巻きをしている「カンノジ・アキラ、42歳」。

コザクラ

42？

ミナシ

そして右端が「タテワキ・カノン、37歳」。以上、5人です。

コザクラ

年齢からして学生じゃないですよ。能島さんが言うように確かに別の団体と繋がって――

クズネ 単に手当たり次第に、ごくごく普通の一般人に動員を掛けただけかも  
しれないよ。

オキツ (飛ばされた一人を指して)このド真ん中の人は？

ミナシ ただの目立ちたがり屋ですね。公安の予備調査に入っていないで。

ノジマ そのアジテーター役の男が「人権理解を深める会」のリーダー？

ミナシ まだ未確定ですが恐らくは。(自分のデスクに戻る)

アガタ この団体は次の日曜日、その4日後の木曜日、つまり憲法審査会が開  
かれる当日にも抗議デモを予定している。早々に、この5人の個人情  
報、特に今までの経歴、誰がどういう人脈と繋がってるか、それをできる  
だけ詳しく探るように。

クズネ以外 了解。

クズネ 詳しくつてどこまでですか、5人とも一般の民間人ですよ。

アガタ だから？

クズネ うちはいつから一般人相手の興信所になったんでしょう。

ノジマ 葛根。

アガタ (クズネに)それはあなたの個人的見解よね。少しでもリスクがあるとわか  
れば、こういう団体は――

デモ隊 (突然動き出して、大声で)――解散！ 国民なめるな、即解散！／

ミナシ (映像を慌てて静止させ) 失礼しました。

アガタ この人たちは、ただの一般人であったとしても極端な反政権団体に傾く

かもしれない一般人。そのリスクがある以上、それに関する情報を集めるのが我々の仕事。これが組織の見解。

クズネ 過剰すぎませんか対応が。

ノジマ 葛根、やめとけ。

クズネ 犯罪者でもないのにここまでします？

ノジマ それも個人的見解だろう。ここまでではする、ここからはしない。それを決

めるのは、(天井を指して)つてこと。

コザクラ あの、阿方さん、この藤巻教授の情報の拡散とどっちが優先ですか。やつ

ぱり(文書を示し)こつちですかね？

アガタ どっちも最優先。

コザクラ なるほど。そういう回答がありましたか。

アガタ いい？

他の面々 ……………。(アガタを向いて姿勢を正す)

アガタ できるだけ早く結果を出して。

オキツ これってつまり、予防線を張るってことですか。その、この人たちは、今はま

だ特に悪いことばしてないけど——

クスネ

いずれ、すつげえ悪いことをする可能性はまったくのゼロじゃないから、今のうちに素性を徹底的に調べ上げ、必要とあらばネットにフェイクコメントを流したりして、できれば弱みの一つ二つ三つ四つ掴んどけ。

アガタ

これも国を守るための立派な仕事。

クスネ

……………

ノジマ

……………。(アガタには見えないように天井を何度も指す)

アガタ

嫌なら外れてもらって構わない。

オキツ

やります。やりますよね葛根さん、一緒に。

アガタ

すぐに取り掛かって。調査の割り振りは任せる。

他の面々

了解。

アガタ、足早にオフィスを後にする。

ミナシ

公安からの予備調査の情報、顔写真はそれぞれのPCに送っておきましたんで。これオフりますよ。

ミナシ、映像を消す。と同時に面々は機敏に外に出て行く。

### 3

と、静止画の人たち、再び一斉に動き始めると、そこはアジトのようすで――

カンノジ

なんか今日の集会、思ったより手応えなかったっていうか今イチ盛り上がってなかったよね。

ハザカイ

少なすぎますよ。集まらなすぎ。わざわざ日曜日にしたのに。

カンノジ

もつと派手にぶちあげないと、こんなんじゃせつかく来てくれる橋高きつたかくに申し訳ないよ。呼びかけまでやつてもらったのに。

キツタカ

いや、僕は全然。

カンノジ

と彼は言ってくれてるけど、このままじゃ僕らの本気度は伝わらないよ。デモの参加者は減る一方だ。憲法改正に疑問持つてる人は少なくなってるんだからその人たちを行動で示すように駆り立てなきゃ。

タテワキ

ネットでのデモの告知の仕方、変えませんか？

ハザカイ

そう絶対それ。問題はネットの広報ですよ。

イズミダ

すいません。

カンノジ

それもあるかもしれないけど大事なのは中身だよ、主張の中身。

キツタカ

いや数は大事ですよ。

カンノジ 大事だよね。

キツタカ なんだかんた言って結局、民主主義って「数は力主義」だから。

ハザカイ そう絶対人数ですよ。数は力。人集まらなくていいんだつたらやる意味なんてありますか？

カンノジ 意味はあるだろう。

タテワキ 変えましょう、ネットでの呼びかけ方。このままじゃダメです。

イズミダ すいません。

キツタカ ただ、問題はそのネットなんだよね。ネットのせいでデモの参加者が減ってる側面がないとは言えない。

ハザカイ どういうことですか？

キツタカ や難しいことじゃないよ。政治的発言はネットで叩かれやすいから。

カンノジ まあなあ。

キツタカ 「おまえは間違ってる」「何を知ってそんな妄言を吐けるんだ？」「もつと歴史を勉強しろ、アホ」「さっさと引っ込め」

カンノジ うちのサイトでもアホアホアホアホが36個。ただそれだけのコメントが書き込まれたことあるよね？。

キツタカ 運が悪けりゃ誹謗中傷が毎日、ひっきりなしに何百件と来るようになって挙げ句、住所や顔写真まで晒される。政治的発言に口出ししてく

る人って自分なりの信念を強固に持つてる人が多いですからね。相手を論破しなきゃ気がすまない。好戦的な人が多いんですよ。だから、政治に無関心ってわけじゃないのに、そんなことに巻き込まれるのは御免被りたい。デモに参加するとか、そういう目立った行動は取りたくない。そう考える人は結構いると思いますよ。

ほかの一同 ……………。

この間にゴザクラ、クズネ、ミナシがオフィスに現れ、各自パソコンに向かう。

キツタカ あ、でも率先してやってる皆さんはそんなことは織り込み済みですよ。カンノジ そりゃそうだよ。それくらいの覚悟、持ってやってるよね？

ハザカイ いやいやそれは絶対困る、ナシでしょう。

タテワキ 官司かんのじさん、そこまでの覚悟あるんですか？

カンノジ あるよ。そりゃあるでしょ、あるはずでしょ。でも俺、ネットに自分の意見なんて書いたことないけど。

ハザカイ そこは書きましようよ。

キツタカ 検討する余地が大きいのはネットでの告知じゃなくて、そもそも今のデモのやり方で事足りてるのかってことじゃないですか？

カンノジ でも数はカ主義つてさっき言った――

キツタカ デモに人を集めなくたって少ない人数でもできることはあるんじゃないかってことですよ。(意味ありげに) 少ないなりの方法が。

ハザカイ ……なんか怖いんですけど言い方。

タテワキ 例えばどんな方法ですか？

イズミダ 先鋭化するんですよ。

ハザカイ センエイカ？

イズミダ 過激になる。ネットで正義漢ぶってるヤツらは勝手なことを書いてるだけじゃないですか。

ハザカイ なに、急にどうした？

イズミダ あいつらは何ひとつ行動は起こさないうつてことですよ。

カンノジ じゃ俺たちも行動だ。例えば地下に潜って爆弾を作る。

ハザカイ テロ！

イズミダ (真顔で) いいんじゃないですか。

ほかの一同 ……。(ぎょととなってイズミダを見る)

ハザカイ うそ、本気でそんなこと考えてるの？

イズミダ いえいえ冗談です。

ハザカイ こわ(怖)。日頃口数少ないから余計に、こわ。

タテワキ 泉田くん、何が本音で何が冗談なのか全然わかんない。

ハザカイ こわ。

イズミダ 冗談です。それじゃ犯罪集団じゃないですか、イヤですよ、警察に追われる身なんて。

キツタカ 今だってもう、十分付け狙われてるかもしれないよ。

カンノジ 何それ？ 付け狙われてるって警察に？

キツタカ 官調ですよ。

ハザカイ カンチョー？

キツタカ 聞いたことないですか、官房情報調査室。今の政権を脅かす者は団体であれ個人であれ公安警察と一緒に徹底的に調べあげブラックリストに載せる。憲法改正に反対を煽る団体なんて政権にとっては敵と言っても過言じゃないですからね。

カンノジ だけども集会も市民の権利だよ？ 違法行為じゃないよ。

キツタカ もちろん、そうです。だから大つびらには取り締まれない。なので誰が敵なのかを水面下で探るんですよ。で、政権側があいつらやりすぎだと思ったらお灸を据える。

ほかの一同 ……………。

キツタカ という都市伝説があるそうです。

ハザカイ え、都市伝説？

キツタカ そういふ噂を一度聞いたことがあるだけなんでホントかどうかは全然わかりません。

カンノジ なんだよお、脅かすなよ。ただでさえモチベーション下がってきてるのに。

タテワキ 橘高さんも本音と冗談の違いがわかんない。

キツタカ 官司先輩の言うとおり、デモも集会も市民の権利です。

ハザカイ でもその都市伝説、まったくの冗談でもなかったりして。

カンノジ やもういいよ、その話は。なんかこうもつと建設的な、モチベーションが上がるような話をさ——

タテワキ あ、すみません、私今日、もう時間が。

ハザカイ えーっ、そうなの？と言いつつごめんなさい私も。

カンノジ え何？ 今日もう解散？

ハザカイ すみません橘高さん、せつかく来てもらっただのに。

キツタカ いいよいいよ気にしないで。また来るから。

タテワキ お先に失礼します。(足早に出ていく)

ハザカイ お疲れさまでした。(足早に出ていく)

男性3人 (口々に)お疲れさま。

カンノジ 飯でも食いにいきますか。泉田くんも時間あるよね？

イズミダ  
まあ。

カンノジ  
じゃあ先行っていつもの中華屋。俺トイレ行ってくるから。

イズミダ  
僕もトイレ。

カンノジ  
なんだよ気が合うな。じゃ橘高くん、表で待つて。

キツタカ  
先行ってますよ、店わかるんで。

カンノジ、手を挙げ速攻で出ていく。イズミダも出ていこうとする——

キツタカ  
泉田くん。

イズミダ  
はい。

キツタカ  
テロはどうかと思うけど、先鋭化するって発想、僕はアリなんじゃないか

と思うよ、一つのメタファーとして。

イズミダ  
(ややあつて)先に行つててください、すぐ追っかけますんで。

イズミダ、それだけ言つて退室する。やや遅れてキツタカ、出ていく。

× × ×

キツタカ、歩いてくる。ふと立ち止まる。辺りを見回す。再び歩いて去っていく。

と、後ろからノジマが尾行していて、キツタカが去ったほうをじつと見ている。

# 4

オフィスの一角にアガタ、クズネ、ミナシ、コザクラ、オキツ、ノジマが集まっている。彼らの前には調査対象5人の顔写真が張り出されていて――

ミナシ

確かに、この会の代表は大学院に在籍しているハザカイ・コトネですが、形式的なものです。本人は留年が続いている状況で、デモや集会の時だけ顔を出しているようです。ただ、他団体との繋がりには特にはないようです。

コザクラ

タテワキ・カノンもその可能性はないと思います。

クズネ

この中で抗議デモの実質的リーダーはキッタカ・タカシではなく、カンノジ・アキラです。カンノジとキッタカは直接の知り合いではなかったようですが清瀧大学の先輩後輩で、カンノジがデモに協力してくれるよう後輩のキツタカに持ちかけたようです。

ノジマ

いや、それはたぶん逆じゃないか。

クズネ

逆？

ノジマ

キッタカ・タカシはフリーのライターで食ってる。

ミナシ

そうなんですか？

コザクラ

そのこと公安の情報に入っていました？

ノジマ 情報は自分の足で稼ぐ。

ミナシ にしてもこのところ公安の基礎調査、雑すぎませんか？ 申し訳程度のことしか調べてないじゃないですか。

アガタ 今、隣の芝生はどうでもいい。

ノジマ そしてキツタカ・タカシは会のメンバーでもない。今回も憲法改正の動きをルポとして書くために、キツタカのほうから参加させてくれと頼んだという流れだ。

コザクラ 潜入取材ってことですか？

ノジマ そう見て間違いないと思う。(アガタに)ただ、キツタカも他団体と繋がっている形跡は今のところないですね。

クズネ カンノジもその形跡はありません。

アガタ じゃあこの5人は「人権理解を深める会」としても個人的にも誰一人、他団体との繋がりは特にないのね。

ノジマ ですね。

クズネ 一件落着ですか。

アガタ いや、引き続き調査は続ける。

オキツ 続けるんですか？

アガタ キツタカ・タカシがどんな視点でルポを書いて、それをどの媒体を使って

発表してるのか、それを知る必要がある。

コザクラ ネットなんじゃないですか。

アガタ 根拠は？

コザクラ 手っ取り早いし、だからこそ私たちがだつて利用してるわけで。

ノジマ これはまだ断定できないが、キツタカ・タカシはいわゆる「プロ市民」じゃないかと。

オキツ プロ市民？

ミナシ じゃ左翼つてことじゃないですか。

ノジマ キツタカはこれまでも政治がらみで社会問題に発展した事案には、現場に一人で乗り込んでルポを書いているとの情報があつた。

コザクラ 左翼の立場で？

ノジマ 過去のルポもまだ入手できてないので、どこまで左に寄ってるかはわからない。広く読んでもらうために割と穏健な筆致なのか、それとも歯に衣着せず政権に対して好戦的なのか。

アガタ わかつた。それじゃ今後の調査はキツタカ・タカシを主な対象とする。小桜、沖津は能島さんのサポート。どういったところに取材をかけているかを掴んで、組織・個人、問わず。

コザクラ・オキツ・ノジマ 了解。

アガタ 葛根と水梨は引き続きカンノジ・アキラ。キツカとより結束していく動

きがあるかどうかを探つて。

クズネ・ミナシ 了解。

ミナシ 能島さん、「人権理解を深める会」が以前にもやった抗議デモの映像、

送つときましようか。

ノジマ 助かる。頼むよ。

ミナシ 結構ありますけど、全部送ります？

ノジマ 送つてくれ。

ミナシ 了解。

面々が一斉に出ていこうとするところへ――

アガタ 葛根くん、あと能島さんもちょうど残ってください。

クズネ はい。

ミナシ、コザクラ、オキツは気になりながらも機敏に退出していく。

クズネ 何か？

アガタ これ見て。(手にしていたタブレットを渡す)

ノジマ・クズネ ……………。(読む)

アガタ 「藤巻教授への嫌がらせ？ 官調が執拗な印象操作か」。同時進行で拡散している藤巻教授の件で、この記事が帝都新聞のネット版に出た。いつですか？

クズネ まだ1時間も経ってない。早急に善後策を取る必要がある。

アガタ 拡散は一旦中止ですか。

ノジマ 漏れるはずのないものが漏れてる。これがどういうことかわかるよね。

クズネ もしかして、内通者がいるってことですか。

アガタ 上はそれを疑ってる。(と、クズネに向き直り)あなたじゃないよね？

クズネ はあ？ バカ言わないでください。いるとしたら公安ですよ。

アガタ 根拠は？

クズネ 俺たちが今何について動いてるか知ってる。基礎調査は公安に頼んでる

んだから。面白くないんですよ、下働きだけが增える一方で自分たち主導の調査対象はどんどん減ってるんだから。

だから腹いせに公安が官房情報調査室にお灸を据えた。

クズネ そうですよ。十分根拠はありますよ。

アガタ 我々が何について動いてるかは知っていても、(タブレットを取って示し)ここま  
で詳細に知ることはあり得ない。

ノジマ・クズネ ……………。

アガタ (クズネに)あなた、我々の調査対象が一般人にまで広がってきてるって、  
快く思っていないよね。

クズネ それで俺を疑ってるんですか？

アガタ どうなの？

クズネ 不愉快ですよ。というか、くだらないと思つてますよ。あることないことNS  
に投稿しまくる、正義を振りかざして。俺たちがやつてることは今や  
芸能人の不倫を叩きまくる匿名のネット中毒者と一緒じゃないです  
か。政治家でもないのに誰かの弱みを見つけたそばから憂さ晴らしのよう  
にあげつらう。実にくだらない。そう思つてます。

……………。

アガタ でも俺は内通者じゃありません。

アガタ (ややあつて)そう。それで能島さんは？

ノジマ 俺も疑われてるんですか？

アガタ だって能島さん、反感持つてるでしょう、私に、私のやり方に。

ノジマ (ややあつて)なるほど。

アガタ どうなんですか？

ノジマ 見くびられたもんですね。葛根と違つて私はこの仕事、憂さ晴らしだと

アガタ

は思っていない。でも葛根と同じで、裏切り者にはならない。

……わかった。話は以上。自分の仕事を進めて。

アガタ、部屋を出ていく。ややあつてクズネ、腹立たしげに部屋を出て行くようにして立ち止まり、ノジマのほうを向いて――

クズネ  
ノジマ

能島さん、この仕事に誇りを持っていますか？

どうだろうなあ。でも働いてる人のごくごく一部なんじゃないか。そういう人は。

クズネ、出ていく。ノジマ、一人残って小さく溜息をつく。

# 5

と、呼ばれたユラがちょうど、ノジマの元へ現れたところで――

ユラ 何、話つて。

ノジマ 端的に聞く。国会前で抗議デモに参加したことあるか？

ユラ (一瞬驚くが) なんで？

ノジマ 最近頻繁にやつてるじゃないか、憲法改正反対の反政府デモ、抗議集会。参加したことあるのか？

ユラ あるけど。

ノジマ ……。

ユラ でも言つとくけど反政府デモじゃない、憲法改正に反対してるの。

ノジマ 何回？

ユラ なんで？

ノジマ 今まで何回、参加した？

ユラ ちよつと待つてよ。お父さんが政府に関わる仕事してるからって、私がどんな考えを持つかは私の自由、私の基本的人権でしょ？

ノジマ おまえは公務員、高校の教師だ。

ユラ

そんなのわかつてる。教師は「政治的中立」を守らなきゃいけない。だから選挙活動は法的に禁止されてる。でも私が参加したデモは、「民自党に1票入れてください」とかそういうことじゃない。ただの意見表明。

……………。

ユラ

教師は意見も言っちゃいけないの？ 私、間違ってる？

ノジマ

間違ってるない。

ユラ

よかった。

ノジマ

由良、おまえが間違ってるのは、「間違ってるないことはみんながわかってくれ」って、そう思ってることだ。

ユラ

……………。

ノジマ

そんなことわかつてるだろう。間違ってる・間違ってるない、正しい・正しくない、それを決めるのは法律じゃない、世間の、多くの人の印象だ。イメージなんだ。例えば、頻繁にガールズバーに通ってる男性教師を生徒の親たちはどう思うと思う？

ユラ

例えがくだらなさすぎる。

ノジマ

くだらなくない。少なくとも親はそんな先生に自分の子どもを任せたいとは思わない。同じようにデモに参加してる先生は政治色の強い偏った考えの教師だと見なされる。

ユラ お父さんは私に、この世の中に幻滅しろって言ってるの？

ノジマ 幻滅……？

ユラ 私は世の中をよくしたいと思っちゃいけないの？ 正しいと思ったことを口にしちゃいけない？ おかしいおかしいと思いがらただただ押し黙って生きていかなきゃいけないの？

ノジマ 一人一人、正しいと思ってることは違う。

ユラ だったらなおさら意見を言いあわなきゃ接点なんて見いだせない。

ノジマ それで痛い目に遭っただろう？

ユラ ……………。

ノジマ 正論で押し通そうとして痛い目に遭ったじゃないか。それで学校に、世間に幻滅した。そうじゃないのか？ 意地を張るなよ。もう少し柔軟になってもいいんじゃないか？

ユラ ……もういい、わかった。

ノジマ もういつてなんだよ。

ユラ だからわかったって。意地を張るな、そういうことよね。

ノジマ それだけじゃなくて——

ユラ ほんとにもういい。わかったから。

ノジマ 心配してるんだ。責めてるわけじゃない。

ユラ ……わかつてる。

ノジマの携帯電話、バイブがブルつたらしく――

ノジマ ちよつと悪い。(と電話を確認して)すぐ終わるから。

ノジマ、部屋を出て、ユラ、独り。

と、どこからか養護教諭の「フタバ・チヒロ」が女子高生「カブラギ・ミナミ」を伴って現れると、そこは真星高等学校の職員室で――

フタバ 海藤<sup>かいとう</sup>先生。少し落ち着いたつて言うんで連れてきました。

ユラ (カブラギに)大丈夫？ 教室に戻る？

カブラギ ……はい。

ユラ こっち来て座つて。

カブラギ ……。(座る)

ユラ いい？ 鈴木<sup>かぶらぎ</sup>さん。あなたは何も悪くない。何も間違つてない。まずそれを

忘れないで。悪いのは今井さんたち、そうでしょう？

カブラギ ……先生、あの人たちに注意したんですか？

ユラ したわよ。

カブラギ 余計なことしないでください。

ユラ どうして？ ひどいことしたのはあの人たちのよ。

カブラギ もっとひどくなる。もっとひどいこと裏垢に書かれる。もっと怖いことになってもっと——

フタバ 鎚木さん、(背中をさすり)落ち着いて。大丈夫よ、そんなことにはならな  
いから。

カブラギ ……………。

ユラ ごめんね、先生がもっと早く気づいてあげるべきだったよね。

カブラギ ……………。(首を横に振る)

ユラ 教室、戻れる？

カブラギ ……戻つ、たほう、が、いいんですよね？

フタバ (ユラに)今日はもううちに帰しましょう。

ユラ どうしてですか？

フタバ ゆっくり休んでもらつて、それからまた——

ユラ 鎚木さんは被害者です。おかしいですよ。どうして被害者が逃げ帰ら  
なきゃいけないんですか？ 鎚木さん、今日はもう早退する？ そのほう

がいい？

フタバ ……………。

ユラ

もちろん無理には言わない。だけど鏑木さんが大丈夫なんだったら、戻ったほうがいいと先生は思う。だっておかしいと思わない？ ひどいことした子たちは普段どおり教室にいて、されたほうが教室に入れなくなってる。変でしょう、そんなの。だから鏑木さんが少しでいいから勇気を出して教室に戻って、毅然とした態度をみんなに示してあげたほうがいいと思うの。どう？

カブラギ

戻りたいし、戻ったほうがいいんだって思うんですけど……

ユラ

先生、一緒に行くから。

カブラギ

………。

ユラ

ね？

カブラギ

………はい。

ユラ

双葉先生、教室に連れていきますんで。

フタバ

鏑木さん、苦しくなったらすぐまた保健室に来ていいんだからね。

カブラギ

………。(頭を下げる)

ユラ

よし、行こう。(立ちあがって手を差し出す)

カブラギ

………。(しばしその手を見ていたが、やがてその手を掴んで立ちあがる)

ユラ、カブラギを伴って教室へと向かって歩きはじめる。フタバ、去っていく。

と、廊下の先、進入禁止を示すかのような「白い線」がくつきり浮かびあがる。  
足が止まったカブラギ、震える体を押さえ込むようにその場にしゃがみ込む。

ユラ 鏑木さん、どうしたの大丈夫？

カブラギ ……。(両手で顔を覆い、顔を何度も横に振る)

ユラ 具合悪い？ どこか痛むの？

カブラギ、不意に立ちあがって――

カブラギ

角を曲がったところで足が止まった。線が見えたんです。それ以上行っちゃダメだっていう線が。それでも進もうとしたけど、線の先にどうしても行けない。そうして動けなくなると、顔を上げると自分の向かおうとしている先の風景がどんどん赤く、黒く、赤黒くなって、廊下の両側にある窓とか展示物とか四角いはずの縁の線がぐにやりと歪んでいつて、境がわからなくなっていく。海藤先生はずっと手を握ってくれたけど教室が近づくにつれて、もうすっかり境界はなくなつて自分が今どこを歩いているのか、自分が今どこにいるのかもわからなくなつてきて、ただただ線だけがくつきりと見えて、しゃがみ込んで泣いてしまった。

いつのまにか黒目線の人たち、スマホを手にして、カブラギを鬼の顔で睨みながらコメントを打っている……。

### カブラギ

毎週毎週、教室に向かうと、足が重くなったり、床が平面じゃなくなつて足がもつれたりして、具体的なことは何も考えられなくなつていった。歩けなくなる線は日に日に手前になってきて、自分の安全地帯が日に日に少しずつ崩れていく。危ないから戻らなきゃ、私が大丈夫なところまで戻らなきゃ。でも線はどんどん手前に引かれるようになって、安全な場所はどんどん小さくなっていく。ここはまだ行ける。ここもまだ大丈夫。あの日もしかがみ込んでしまったあと、海藤先生の声は聞こえるんだけどなんと言われたかは覚えてない。自分が何かを喋つてるのもわかるんだけど、何を喋っているのかはわからなかった。そして目に見えるのは、濃霧のように覆い尽くしていく赤黒い世界、その手前の真っ白な線。

と、カブラギ、くずおれるようにしゃがみ込んで、泣き始める。

### ユラ

鈴木さん、どうしたの大丈夫？

### カブラギ

……………。(自分の体を抱きしめながら声を上げて泣いている)

### ユラ

具合悪い？ どこか痛むの？

と、フタバ、教諭の「サコウ・ヒトミ」が駆け込んできて――

フタバ

どうしたんですか!?

ユラ

鈴木さん聞こえる? どうしたの?

フタバ

行きたくなかったんですよ、教室に。そんなこともわからなかったんですか。それを先生が――

サコウ

そんなことより鈴木さんを――

フタバ

鈴木さん、いったん保健室に戻りましょう、ゆっくりでいいから立てる? 酒匂先生、お水持ってきてもらっていいですか?

不意にカブラギ、立ちあがって駆け去っていく。

フタバ、サコウ、驚いて――

サコウ

ちよつと待つて鈴木さん……!

フタバ

鈴木さん……!!

サコウ・フタバ、カブラギを追って去っていき、ユラ独り……。

と、教頭の「ハンヌキ・サトシ」、学年主任の「カザミ・エリコ」が現れて――

ユラ 教頭先生、鏑木さん転校するって本当なんですか？

ハンヌキ 残念です。ヒジヨーに残念です。風見先生が説得してくれましたが、

どうしてもって親御さんの意志が固くてですね——

ユラ 鏑木さんは？ 本人も転校したいと言ったんですか？

カザミ そりゃそうですよ。生徒だけじゃない、PTAまで巻き込んであれだけS

NSで騒がれてしまったり、居づらくなるに決まってるでしょう。

突然、黒目線の人たちの声がユラに届く。

黒目線1 強制的に教室に戻らされたらしいよ。

黒目線2 サイテー。サイアク。

黒目線3 生徒の気持ちに寄り添えない教師はさっさと辞めろ。

黒目線4 その先生、自分の立場を守りたかつただけだろう？

黒目線5 生徒のほうはどんだん立場なくなる。

黒目線6 先生、ウザすぎ。生徒が哀れ。

カザミ 海藤先生。

ユラ ……………。(我に返ってカザミを見る)

カザミ あなたが強い信念を持つてる人だつてことは知ってる。でもね、あなたの強

い信念が、他人にとってはむしろ脅威に感じることもある。

ユラ 脅威？

カザミ 生きていく上ですぐに白黒はつきりつけられないことはいくらでもあるでしょう。しばらくは様子見というか、状況を見守ったほうがいいこともあるの。あなたにはわからないかもしれないけど、性急に白だ黒だと決めつけられることに恐れを抱く人はいくらでもいるのよ。

ユラ なぜ恐れるんです？ 自分に非がなければ恐れることなんて何も——  
ユラ 自分も同じように、あつという間に黒の立場に追いやられるかわからない。そのことといつも隣り合わせ。そう思って生きるのはシンドイでしょう、怖いでしょう。

ユラ でも鏑木さんは白です。何も悪くないんですよ。教室を出ていくべきは鏑木さんをいじめてた今井さんたちのほうですよね？

ハンヌキ 先生。教育委員会もまだ判断してませんから。

ユラ 何をですか？

カザミ 本当にいじめがあつたのかどうか。

ユラ ……………。(啞然)

カザミ 海藤先生、わかつてますか？ 先生が事を荒立てなければ鏑木美波は

この学校を辞めなくてすんだかもしれないですよ。

ユラ  
……………。

教師たち、黒目線の人たち、潮が引くように去っていく。

と、電話を手にノジマが戻ってきて——

ノジマ  
由良？

ユラ  
……………え？（半ばぼんやりノジマを見る）

ノジマ  
どうした？

ユラ  
あ、ううん、なんでもない。

ノジマ  
明日なんだけど——

ユラ  
明日？

ノジマ  
こないだの仕切り直し、大丈夫なんだよな？

ユラ  
うん。大丈夫。万難を排して行こうって言ったから。

ノジマ  
待ち合わせは駅前のロータリーの角のところでもいいか、書店の前の。

ユラ  
えなんで？ お店じゃダメなの？

ノジマ  
いきなり店で対面したら、いきなり本題に入るようなもんじゃないか。それよりいったん駅前前で会って、お店までのらりくらり雑談したりしなかった

ユラ　り、そんな時間があれば心にゆとりができるだろう？

ユラ　あちら、お父さんでも緊張するの？

ノジマ　そうじゃないよ。緊張はしないさ。そうじゃないけど――

ユラ　わかったわよ。いいよ駅前のロータリーで。

ノジマ　彼、遅れないよな？

ユラ　遅れない。

ノジマ　ドタキャン再びもないよな？

ユラ　こないだのはドタキャンじゃない、ちゃんと事前に断ったでしょ。

ノジマ　そうだった、そのとおり。な？　俺だって由良とこういうことを話したいんだ

よ、教師の立場とか、中立性とか、そういうことじゃなくて。

ユラ　しつこいな。そのことはわかったってさっき言ったでしょう。

ノジマ　よし。じゃあ明日はそういうことで。

ユラ　そういうことで。

ノジマとユラ、別々の方向に去っていく。

## 6

キツタカが電話で話している。

キツタカ

読んだよ。毎日ちゃんと目は通してる。……そうだな、ちょっと上から視線になるけど正直に言っついていいかな。……君はまだ遠慮してる。なんて言うか、熱量が足りてない。音声じゃなく文字でしか伝えられないんだから、もつと熱量、情熱、闘志。そういうたものをむき出しにして文字にしな。いと。こないだみんなの前で、先鋭化する、過激になると言ったときの君、ものすごくパワーがあつたじゃないか。怒りのようなものがあつた。……そう、これは紛れもなく闘争、闘いだからね。反対勢力は徹底的に、それを完膚なきまでに叩きつぶさないと。

イズミダ

(スマホを耳に当てたまま現れて)完膚なきまでに……。

キツタカ

そうだよ。意見だつて闘わせなきゃダメなんだ。「論争」「論戦」つて言葉だつてあるじゃないか。遠慮することはないんだ、君の本気を一語一語に反映させて書かなきゃ。

イズミダ

わかりました、やつてみます。

キツタカ

期待してるよ。じゃまた連絡するから。

イズミダ 失礼します。(切る)

イズミダ、電話を切ると、そこはアジトで、すぐにパソコンに向かう。

キツタカ、電話を切ると、振り返ったりして辺りを気にしながら去っていく。

と、その後ろからノジマがついてきている。一旦立ち止まって前方を確認して再び歩を進めようとしたところにバイブが震えたらしく、スマホに出て――

ノジマ どうした？

オキツ (スマホを耳に当てて現れ) 沖津です。能島さん、今どこにいるんですか？

ノジマ 聞き込みを続けてる。

オキツ どこですか？

ノジマ そっちの要件を言え。手短かに。

オキツ あのですね、もし能島さんが近くにいるなら――

ノジマ あ、ちよと待て。あとでこっちからかけ直す。(切る)

オキツ (スマホを耳から離し) 人の話は最後まで聞け。

ノジマ、電話を切ると、キツタカの去ったほうに、やや急ぎ足で追っていく。

オキツ、電話をしようと、そこはオフィスで、自席に就いてパソコンに向かう。

× × ×

アジトのようなところにはカンノジがやつてきて――

カンノジ お、今日もいたいた。熱心だねえ。

イズミダ (慌ててパソコンを操作しつつ) すみません暇なんで。

カンノジ いやいや偉い。頭が下がる。どう、サイトのリニューアル、まだ時間かかる？

イズミダ そうですね、もう少しかかりますかね。

カンノジ 君一人に丸投げしといて言うのもナンだけど、次の集会・デモの呼びかけ、一日も早く載せたいんだよね。やっぱそれなりに人集めないとカツコつかないしよ。

イズミダ すみません、急ぎます。

カンノジ 今、どれくらいできてんの？(見に行こうと)

イズミダ あーダメです、それはダメ。

カンノジ なんで？

イズミダ ある程度形にしたものを見てもらいたいんで。

カンノジ いいよいいよ別に。

イズミダ 僕がいやなんです。あのほら映画とかで1、2分切り取っただけの予告編

みたいの見せられても感想なんて言えないじゃないですか。

カンノジ 俺言えるよ。



コザクラ　なんで？　一緒に動いてるんじゃないかった？

オキツ　それがいつも途中から、俺は俺で調べたいことがあるからってほったらかしにされるんですよ。

コザクラ　それは親心。さっさと独り立ちしろってこと。

オキツ　でも放置ですよ放置。さっきも電話したら「こちからかけ直す」って言ったのにまた放置。なんかもう疲れ果てました。

コザクラ　愚痴の前に今日の成果報告とかないの？

オキツ　ないです。

コザクラ　じゃも一度聞き込み。

オキツ　最近ホント疲れやすいんすよ。ここんとこ人を疑って疑って疑ってばっかの仕事じゃないっすか、人間不信になりませんか？

コザクラ　信頼できる人間は一人か二人いれば十分。

オキツ　小桜さん意外と屈折してる。

コザクラ　人は誰もが屈折してる、屈折を抱えてる。だからこそネット世界じゃ誰かしらターゲットが見つかれば誹謗中傷が吹き荒れる。

オキツ　なるほど。

コザクラ　一つの要因ではあるんじゃない？　さてやるか。(パソコンに向かう)

カンノジ × × ×  
(思わず笑つて)うほほっ、いやいやいや……。

イズミダ ……………。(見る)

カンノジ あ、ごめんごめん。泉田くんさ、改憲推進派の議員のツイッター、今もチエックとかしてんの？

イズミダ ……………たまにですけど。

カンノジ この頃、書き込みすぎいよね。「おまえこそ国賊」「日本国民全員がおまえの敵」「頼むから消えろ、消えてくれ」。バッシングの嵐。

イズミダ ああ、見ました。相当やられてますよね。

カンノジ これ書いてるの、君？

イズミダ 違いますよ。

カンノジ あ違うんだ。

イズミダ 違います。

カンノジ まったく違うんだ。

イズミダ まったく違います。

カンノジ ……………。

イズミダ ……………。

カンノジ まあそれならそれでいいんだけど、こんなこと書いても無駄なんだよね。

イズミダ 無駄？

カンノジ 議員一人一人を攻撃したって世間は同調しないから。トンチンカンなやつがいるなって、そう思われるだけでさ。議員一人一人じゃなくて世間一般を相手にしないと。それこそ国民全員が「改憲はよくない」と思うように仕向けないと。

イズミダ どうやるんですか？

カンノジ どうやるんだろうね。

イズミダ は？

カンノジ それがわかるんなら苦労しないよ。橘高くんに言われてあれこれ考えるけどさ、やっぱりデモしかないよなあ。(スマホに戻る)

× × ×

オキツ 報告書、書いてるんですか？

コザクラ そうだけど。

オキツ てことは何か成果あったんですか？

コザクラ 君とは(腕を叩いて)違うから。

オキツ へー。

コザクラ キッタカ・タカシはキッタカ・タカシじゃなかった。

オキツ えどういうことですか？

コザクラ

考えてみればライターだったらペンネームって可能性、全然ありよね。でもキツタカ・タカシは学生の頃から日常でもそう名乗って、プロフィールにプライベートな情報は一切公表してない。さっさと調べただけじゃわかりようがなかったのよ。

オキツ

なんで小桜さんはそれわかったんですか？

コザクラ

それは、(腕を叩く)

オキツ

なんで隠すんですか、俺らチームじゃないですか。

コザクラ

人間不信なんですよ？

オキツ

帝都新聞ですか？

コザクラ

は？

オキツ

言っただじゃないですか、帝都新聞はネカフェ難民雇って情報操作してるって。ネカフェ難民はデマでしょうけど、情報操作はしてるんですよ、その道のプロを雇って。

コザクラ

あのね、妄想は情報じゃないから。

オキツ

もう見えますよね、帝都新聞のネット版。官調が印象操作してるんじゃないかっていう記事。小桜さん、実は帝都新聞に信頼できる人間がいるんじゃないですか？

コザクラ それで？ その妄想の結論は？

オキツ だから、そういうことですよ。小桜さんは帝都新聞と繋がってる。

コザクラ ……………。

オキツ 当たりですか？

コザクラ ……みんなには黙ってて。絶対言わないで。

オキツ ………！

コザクラ と私が言ったらどうする、沖津くん。

オキツ え、え、違うんですか？ え、どつちなんですか？

コザクラ 話はおしまい。もう何も言わないで。(パソコンに向かう)

× × ×

カンノジ ちよと出てくる。あ、帰るなら遠慮しなくて帰っていいから。(行こうと)

イズミダ 結局官司さんは何もしないんですか？

カンノジ 何が？ 何を？

イズミダ 今考えてるって言うのは何もしないと同じです。あんなデモなんか何度

やったって大衆は振り向かない。でもほかにやることないから次もやとく

か。ただの自己満足じゃないですか。

カンノジ 何を恐れてるんだ君は？

イズミダ  
え…………？

カンノジ  
何かを発信し続けないと君はいないことになってしまふのか？ たただだ  
社会に埋没していつてしまふ、孤立してしまふ。そういうことか？ それを  
恐れてるのか？

イズミダ  
何もしないよりはずつといい。

カンノジ  
あんなものはゴミ同然だよ。

イズミダ  
……………。

カンノジ  
一時いちじつの感情にまかせて無鉄砲に無秩序にやりやあいいつてもんじゃない。  
(出ていく)

× × ×

オキツ  
あの小桜さん。

コザクラ  
……………。(ちらつと見るが無視する)

オキツ  
今から僕、独り言を言いますけど、もし耳に入っても独り言なんです  
いません。こないだ僕、能島さんにも聞いたんですよ。(と、通りかかったノジマに)  
あの、能島さん。

ノジマ  
何だ。

オキツ  
この職場に誰か帝都新聞にリークした者がいるんじゃないかって噂耳に

したんですけど、それって信憑性あるんですか？

なんで俺に聞くんだ？

オキツ そりゃあ能島さんのこと、僕は人生の師だと思ってますんで。

ノジマ そりゃありがとよ。

オキツ リークしたの、能島さんですか？

ノジマ ……そうだ。(ややあつて)と言ったらおまえどうする？

オキツ びっくりします。

ノジマ (ややあつて)それだけか？

オキツ びっくりしますけど、そのびっくりを受け止め、能島さんは内通者、その事実も受け止めて仕事を続けます。

ノジマ なら、それでいいんじゃないか。(出ていく)

オキツ なんか小桜さんとおんなじなんですよね、なんかすつきりしないって言うか、中途半端に疑いを残すって言うか。

× × ×

イズミダ

(机に戻ってパソコンに向かっていたが、突然バン!!とデスクを叩いて、頭を掻きまぐる)

× × ×

コザクラ ああー、ほんと苛つく。あんた、本物の馬鹿なんだね。

オキツ それ独り言ですか？

コザクラ

なわけないでしょ、その馬鹿に言ってるの。あのね、何か疑問に思うこと、心に引つかかることがあるんだたら自分で調べなさい。あんた、何でもかんでも人の言葉を鵜呑みにするわけ？（と手で制し）答えなくていい。オキツ、おまえが内通者だつて言われたら、そうか俺内通者なんだつてあんた思うの？（と手で制し）答えなくていい。たーだ人から聞いたことは情報でも何でもない。聞いて調べる、調べてまた聞く。この繰り返して裏を取って初めて「情報」つてもんになるの。わかる？（と手で制し）答えなくていい。それにね、あんた情報の価値つてものをまるでわかってない。今や戦争の勝ち負けだつて情報に大きく左右されるの。情報の価値は時代とともに上がる一方、今や爆上がりしてるの。個人情報もそう。2003年に「個人情報保護法」が施行されて以降、ますますその価値は高まって、聞いたら教えてもらえるつてチープなもんじゃなくなってるの。わかる？ わかったんなら安易に聞くな。自分で調べて、自分で裏を取れ。わかった？ 答えなくていい！

オキツ、ただただあつげにとられている。

# 7

駅前のロータリー角。人待ち顔のキッタカのもとへユラが現れて――

ユラ ごめん、私のほうが遅くなつて。(見回して)お父さんは？

キッタカ セーフ。

ユラ よかった。用意周到っていうか、あの人ともなく早く来たりするから。きつちりしてるんだよそこらへん。

キッタカ (時計を見つこ)だつたら早いとこ確認しときたいんだけど、今日は俺、挨拶するだけでいいんだよね。

ユラ うん、面通しっていうか――

キッタカ ちよいちよい、それを言うなら「お目通り」。「面通し」って容疑者に対して使う言葉だよ。

ユラ あそうなんだ。さすが物書き。物知り。

キッタカ なんか馬鹿にしてる？

ユラ 違う違う。柄にもなく緊張してるの、こういうの初めてだから。お父さんがどんな反応するのかさっぱり見当つかないし。

キッタカ 政府のなんだ、内閣府だつたっけ？

ユラ 官房情報調査室。

キツタカ それ。まさにエリートだよな。お父さん俺のこと、どの程度知ってるの？

ユラ 何にも知らない。

キツタカ えなんで？

ユラ だって聞かれないから。お父さん、私のことに興味ないっていうか、やそうじ

やないな、私がやること、やろうとすることに基本口出ししないから。

キツタカ 自主性を重んじる。

ユラ そういうことじゃなくて負い目みたいなものがあるんじゃない？

キツタカ 負い目？

ユラ うちの両親、私が小学校入る前に離婚しちゃって、私はお母さんのほうに行つてそれからは母一人子一人で暮らしてたんだけど、高1のときにお母さん交通事故で死んじゃって、そこから今度は父一人子一人の生活。だから、私の人格形成が最も盛んな頃にお父さんと一緒にいなかったから、たぶんそういう負い目。

キツタカ ……初めて聞いた。

ユラ 初めて言った。ついでに言うとな、私は海藤由良でしょ。でもお父さんは能島拓人。

キツタカ え？

ユラ 私、いったんお母さんの姓になってそのままにしてるから今は親子で名字が違うの。

キツタカ え、お父さん名字違うの？ ノジマさん？

ユラ そういうこと。覚えた？

キツタカ もつと早く覚えさせてよ、そんな大事なこと。ほかに俺が知つとかなきゃマズいこと、もうない？

ユラ ー、そんなもんじゃない？

キツタカ お互い、仕事の話なんかもする？

ユラ 基本的にはしないな。お互い忙しいから自分のことで。あでも、でもね、結婚しようと思ってる人がいるって言ったら、そこから急に変わった。ちよとお父さんっぽいこと言うようになった。

キツタカ だからそういうことも言つといてよ、お父さん情報。前もつて。

ユラ だから前もつて言つたじゃん。

キツタカ だつてもう来るじゃん。

キツタカの携帯電話が鳴る。キツタカ、番号を見て――

キツタカ 官司先輩。たぶん次のデモのことだ。(離れようと)

ユラ 手短にね。お父さん、もう来るかも。

キツタカ (と振り返って) 君は次のデモ、参加できるの？

ユラ そのつもりだけど、まだ未定。学校の予定次第。

キツタカ 都合がつけば、また誰か連れてこれる？

ユラ それもまだわからない。

キツタカ (わかった、と手を挙げ電話に) 橋高です。(と離れていく)

キツタカが見えなくなつてユラ、独り。

と、カザミの声が届く。やや離れてハンヌキ、サコウも立っていて――

カザミ 海藤先生。あなたも教師なら立場つてものを考えてくれないと。今日だ

けで何本、苦情の電話があつたと思つてるんですか。

ユラ 3本ですよ、昨日が1本、すべてPTAの役員の方。

カザミ そうですよ、皆さん心配なさつてるんです、あなたのことを、引いてはこの学校の評判を。

ユラ 私はただデモに参加しただけです。

カザミ だからどうしてそんなことしなきゃいけないの？ あなた、次のデモにも参加しようと思つてるんですよ？

ユラ 私、そのPTAの方々に電話します。私の考えを説明します。

カザミ 「二度とこんなことがないように注意しておいてください」。すでにそう仰せつかつてるんです教頭先生も学年主任の私も。

ユラ 私は間違つたことはしてません。

カザミ 間違つてる・間違つてない。そんな話はしてない。そんなことじゃないの。あなたの行動を不安視するPTAの方々がいる以上、少しは自重なさつてもいいんじゃないですか。それが大人の分別というものでしょう。

ユラ 分別!? デモに参加する・しないは分別で決められる――

カザミ 「デモに参加したのは軽はずみな行動でした。今後は二度と参加しません」。酒匂先生はそう仰いましたよ。

ユラ ……………。(サコウを見る)

カザミ ねえ酒匂先生。

サコウ ごめんなさい海藤先生。私あのととき風邪ひいてたんだと思うんです。

ユラ かぜ?

サコウ みんなと一緒に声を上げれば気持ちが高揚するし、熱に浮かされてたんです私。でもこれ以上風邪をこじらせて学校に迷惑かけるわけにはいかないじゃないですか。

ユラ 本気で言ってるんですか? 酒匂先生も憲法改悪に反対だから参加

したんですよね自分の意志で。

カザミ

そうです。そして自分の意志で二度と参加しないと決めたんです。

ユラ

ということは「私は今後とも参加する」、それも自分の意志で決められるってことですよね？

カザミ

違います。教師なら学校のことを第一に考えるべきだ。そう思ったんですよ酒匂先生は。子どもたちが安心して過ごせる、親御さんたちが安心して任せられる。そういう学校でなければいけないと。それは学校にとって何より大事なことだと海藤先生だつてわかるでしょう。

ユラ

PTAの方々が不安に思う気持ちはわかります。でも生徒もそうなんでしょうか？ 私がデモに参加するだけで不安に思うんでしょうか？

カザミ

ですから――

ユラ

デモに参加したいという私の意志は学校によって曲げられた。もしそうなつたら、そしてそれをいずれ生徒たちが知つたら、この社会には基本的人權よりも上位に位置づけられるものがいくつもある。社会とはそういうものなんだ。むしろ、そういうことを生徒に教えることになりませんか？ ご自分で決めてくださればそれで結構です。

カザミ

教頭先生……。

ハンヌキ

確かに学校が必要以上に介入することではないのかもしれませんが。但

し、不安視する方々がいらつしやるのも事実です。ですから先生の考えを文書に書いていただけますか。PTAの方々にはそれをお渡しすることになります。

ユラ わかりました。

ハンヌキ

海藤先生、これだけは覚えておいてください。不安に思う方々は時に必要以上に反発します。大きな声を上げます。これでもかと不安がきれいさっぱりなくなるまで続くこともある。たとえ先生からの文書を読んだとしてもです。そのことをわかつた上で今後どうなさるのか、ご自分の意志で決めてください。いいですね。

ユラ

そうします。

ハンヌキ、カザミ、サコウ、部屋を出ていく。

と、ノジマの「ユラ」という声が届いてきてユラ、声のほうへ振り向く。

ノジマ

(現れて) 早いな、まだ15分前だ。

ユラ

さすがに今日はね。で、私より早く来た彼は今あつちで電話中。

ノジマ

(見回して) 残念、ドタキヤンじゃなかったか。

ユラ

またそんなこと言う。仕事は大丈夫だったの？

ノジマ 仕事？

ユラ 忙しいんじゃないの、ここんとこ帰り遅いし。

ノジマ とはいえ、さすがに今日はね。

ユラ そういえばお父さんときこ、このご時世でもテレワークって全然ないよね。

ノジマ 学校だってほとんどないだろ。

ユラ 私は一時期、ZOOM会議とか結構やったよ。あれ不思議な感覚になるんだよ。自分が今どこにいるのかわからなくなる。

ノジマ わからなくなる？

ユラ 会議終わって「退出」ボタンをポチつと押せばもう自分の部屋。瞬間テレポート。会議をした形跡はどこにもなくて、職場と自宅の境界がなくなつたような、落ち着かない気分になる。

そこは職員室なのか、ハンヌキ、カザミ、サコウ、フタバが自在に行き交う。

ユラ それに人数が多いと音声だけで出席してる人もいるから、突然声だけが降ってきたりするわけ、顔のない声が。

サコウ 海藤先生ごめんね。私、教育基本法にも地方公務員法にも違反してませんと言っただけど風見先生、全然聞く耳なくて。

ユラ

あれも落ち着かないんだよね。表情が見えないから、その人の発言を言葉通りに受け取っていいのか、何かしら含みがあるのか、なかなか読み取れないわけ。

ハンヌキ

基本的人権は何よりも優先されなければいけません。人間が生まれながらにして持つてゐる権利ですから。当然です。

ユラ

それで思つたわけ。もしZOOM会議で顔が見えなくて、その上、発言が音声ではなくチャットのように文字だけで出たらどうなるんだろうって。

フタバ

(機械音のように)行きたくなかつたんですよ、教室に。そんなこともわからなかつたんですか。

カザミ

(機械音のように)それが大人の分別というものでしょう。

ユラ

その言葉は私に、どんなふうに聞こえるんだろうって……。

ノジマ

由良。

その声でユラ、我に返ると、そこは駅前のロータリーで教師たちの姿もない。

ノジマ

おまえやつぱり、学校で何か揉めてゐることがあるんじゃないのか？

ユラ

えなんで、ないよ何も。

ノジマ

ほんととか？

ユラ お父さん、心配しすぎ。

ノジマ だっておまえ鏡見てみる。今から別れ話するみたいな、1万でいいからお金貸してと言いつ出しそうな顔してるぞ。

ユラ だとしたら、それはあなたのせい。あなたからの遺産の問題。

ノジマ やだからもつと愛らしく、かわいらしく、愛愛しい笑顔で――

ユラ (キッタカの去ったほうに手を挙げ) 遅いよ。時間掛かりすぎ。

その方角からキッタカ、スマホ片手に小走りに戻ってきて――

キッタカ ごめんごめん、なかなか電話切らせてもらえなくて。

ノジマ ……！(その顔を見て真顔になる)

ユラ えー紹介します。ハイ、自己紹介で。

キッタカ 初めまして。橘高隆志と申します。半年くらい前から由良さんとおつきあいさせてもらってます。

ユラ 結婚を前提として。

キッタカ えそんなこと言っちゃう？

ユラ え言う気なかった？

キッタカ いやいいけど、いいんだけど、こんな路上でいきなり言っちゃう感じ？

ノジマ 一つ聞いていいかな？

キツタカ あ、はい。

ノジマ キツタカ・タカシツて本名？

キツタカ そうですけど、名前が何か？

ノジマ いや娘からフリーの記者だつて聞いてたから、もしかしたらペンネームなのかなと思つてたんで。

キツタカ あでもペンネームは使ってます。

ユラ あそうなの？

ノジマ 媒体によつて使い分けてる？

キツタカ そうなんですよ。もう節操がないくらいさまざまな媒体に手を出してるんで、全部同じ名前だと都合が悪かつたりするんですね、いろいろと。

ノジマ 具体的にはどんな媒体に？

キツタカ 大手もありますし、小さなコミュニティーやNPO法人の機関誌とかにも書きますし――

ユラ 大手だと「週刊マス・ガジェット」とか「帝都新聞ネット版」とかにも書いてるんだよね。

キツタカ でも大手はまだまだ持ち込みがほとんどなんで、たまにしか載せてもらえないですけど、(ユラに)これから精進します。

ノジマ ペンネームは例えばどんな名前です？

と、キッタカのスマホにLINEが届く。

キッタカ ちよとすみません。(と読んで顔色が変わり)由良さん……。

ユラ え、何？

キッタカ 君がデモに参加したときの写真がネットに上がってる。

ユラ・ノジマ ……！

キッタカ、急いで写真をユラ、ノジマにも見えるように差し出す。

と、ユラ、そのスマホを奪うようにとって見入って――

ユラ 私の名前と学校名も出てる……。

3人、言葉が継げないまま、その場に立ち尽くす。

と、背後からデモ隊がゆつくりと近づいてくる。皆、黒目線である。

掲げられたプラカードには、「危険教師」「即、辞めろ」「偏向教師は百害あつて

一利なし」「おまえだ、海藤由良」「教育が危ない」などと書かれている。

近づいてくるデモ隊がゆつくりとノジマ、ユラ、キッタカを呑み込んでいく。

# 8

オフィス。デスクが中央に寄せられている。アガタ、ノジマ、ミナシ、コザクラ、オキツは着席。タブレットを持ったクズネだけが立っていて――

クズネ

もうホント五月雨式ですよ。「ツイッターで国会の実況中継をする議員Sに物申す」「過去にはこんなことも言っていたコウモリ議員M、国会答弁での詭弁を暴く」「つきはぎ答弁のオンパレードはこの議員だ」。こうした暴露もどきの投稿が改憲推進派の国会議員をターゲットに手当たり次第、バラまかれてる。

オキツ

ずいぶん強気だなあ。

コザクラ

これ、裏は取ってるんですね。

ミナシ

「こたつ記事」ならぬ「こたつツイート」の類いでしょうね。それこそネット記事の「つきはぎツイート」は結構あります。

クズネ

信憑性はともかく、その上で各議員に、「改悪と云うべき憲法改正の必要性について個人的見解を直ちに示せ」と注文までつけてる。

オキツ

これが全部、「人権理解を深める会」の仕業なんですか？

クズネ

十中八九は。というのもわざわざ「#(ハッシュタグ)人権理解を深める

会」と自らの会の名前を付けてるものも少なくない。

コザクラ ここに来て承認欲求？ 会の認知度を上げたいってこと？

ノジマ 第三者がそのハッシュタグを悪用してる可能性は？

ミナシ それはまだはっきりしてませんが、可能性は低いかと。

コザクラ これが本場に「人権理解を深める会」の仕様だとしたら、大きく方針

転換したってことですよ。健全なデモから、議員への個人攻撃へ。

オキツ なんか闇雲ですよ、無鉄砲すぎませんか？

ノジマ でもまあ、この程度のツイートで、なおかつターゲットが議員個人にとど

まってるぶんにはまだかわいいもんだよ。せいぜい頭にきた議員がこの会を  
名誉棄損で訴えるぐらいが関の山。

クズネ 政権にとつては場外乱闘のようなもの。

ノジマ しばらくは静観してればいいんじゃないですか。

アガタ いや。これ以上暴走しないという確証はない。気になるのは議員の攻撃に  
方針転換したその理由がはっきりしないこと。外部の組織から何らかの  
接触があったのかもしれない。

オキツ 外部の組織？

アガタ それに憲法審査会は超党派でつくられているのに、ツイート攻撃のター  
ゲットは圧倒的に民治党の議員が多い。

オキツ あれそうでした？

アガタ 立民党、国民党の議員もお茶濁し程度にやり玉に挙げてはいるが、トーンが全然違う。いかななものか。その程度だ。

コザクラ もしかして外部の組織つて野党つてことですか？

アガタ 野党からの接触があつたとすれば、いずれ攻撃の矛先は直接、現政権に向きかねない。

クスネ ちよつと待つてください。この会があれですか、今後、野党にとっての「ザッピング・ザップ」になるかもしれないってことですか。

アガタ 極端に言えば。

クスネ 飛躍しすぎですよ。

アガタ わかつてると思うが、政権の安定を図る。そのためにはどんな些細なりスクも調査し、見極める。官房情報調査室はそのためにある。そのことを決して忘れないように。

ノジマ にしても風呂敷敷げすぎじゃないですかね。

クスネ そうですよ。今の野党に政権を脅かす力なんてないですよ。政権与党は一人勝ち状態なのにつたい何をそんなに怯えてるんですか？

アガタ 一寸先は闇。

ミナシ それが政治の世界。昔からそう言いますもんね。

アガタ

戦争にしたりって突然始まる。世の中が一夜にしてひっくり返ることは歴史上何度もあつたし、これからも大いにあり得る。安定した政権を維持するには、いったい誰が敵になりそうなのか、今叩くべき敵は誰なのか、政権中枢にいる人たちは常にそれを考えてる。それだけを考えると、**言つても過言ではないくらいに。**

クズネ

いやいやいや、だとしても野党にとつての「ザッピング・ザップ」だなんて、ないですよ、よくもまあそんなこと思いつくなあ。まだ現れてもない幽霊を怖がつてるようなもんじゃありませんか。

オキツ

あの今さら聞くのが怖くて聞き流してたんですけど、「ザッピング・ザップ」ってアレですか、政権与党のヨイシヨ集団。

ミナシ

そうです。そのツイッターアカウント名が「ザッピング・ザップ」です。与党の政策にはひたすら賛同。その一方でひたすら野党批判、政権に否定的な記事を書くマスコミや大学教授にも批判ツイートを繰り返す。

コザクラ

そのヨイシヨ集団に民治党から多額の資金が流れてた。週刊誌がそうすっぱ抜いたこともある。

オキツ

えじゃあ、自分たち与党のヨイシヨと野党の批判を、与党自らやつてるってことですか。

ノジマ

霧の中だよ、今でも霧の中。去年、攻撃された野党議員が訴訟を起こ

して、それつきり鳴りを潜めたままになってる。まあ葛根の言うとおり現実的には考えにくい。

アガタ 能島さん、キッタカ・タカシについてのリスクは調査済みですか？ その後、報告がないようですが。

ノジマ 胡散臭い点は多々見られますが、まだ調査中です。

アガタ 小桜から報告があつた名前がペンネームなのではないかという点は。

ノジマ いくつものペンネームを発表媒体によって使い分けるようです。実際、

大手ではキッタカ・タカシと記載されました。それがペンネームの一つなのか本名なのかはまだ確証を得てません。

コザクラ 私もそれ、引き続きあたります。

アガタ では、ひととおり考えを聞かせてもらったが、「人権理解を深める会」と野党、特に立民党、国民党との関わりは我々で調査する。

クズネ (呆れて)するんですか。

アガタ 今回は一般人ではなく対象に政党も含まれる。官調本来の仕事と言えるんだからモチベーションは上がるんじゃない？

クズネ でも我々が素性を暴こうとしているのは結局一般人ですよ？

アガタ 能島さんと沖津は立民党。葛根・小桜は国民党をあたるように。ミナシは両方のサポートにあたって。

他の全員 (ロ々に了解)

アガタ もう一つ。全員に見てもらいたい写真がある。水梨くん、出して。

ミナシ 映します。

写真が映し出される。

顔を寄せ合って一台のスマホを覗き込んでいるノジマ、キッタカ、そしてユラ。

アガタ 真ん中の女性を挟んで右にるのがキッタカ・タカシ、そして左は能島さ

ん。ですよね？

クスネ・コザクラ・オキツ ……………。(驚く)

アガタ 水梨に確認してもらったところ、真ん中の女性は「人権理解を深める

会」が主催した抗議デモに少なくとも2回参加してる。

クスネ・コザクラ・オキツ ……………。(驚く)

アガタ で、この仲睦まじい写真はということでしょう？

× × ×

一転して、「人権理解を深める会」。

あちらこちらでイズミダ、ハザカイ、タテワキ、立ったり座ったり歩き回ったりしながら一心不乱にスマホに目を落とし、ひっきりなしに指を動かしている。

カンノジだけが立っていて――

カンノジ

だから意味ないってそんなこといくらやっても。どう考えたってデメリットしかないよ。わかつてる？

他の全員

カンノジ

………。  
おいおい情けなくないのか？ それじゃあ炎上に「待ってました」と群がってくるネット中毒のお祭り野郎と変わんないよ。しかも君たちタチが悪いのは、無駄に騒ぐだけの「お祭り」と、正義感を振りかざす身勝手な「制裁」、両方やつてるんだよ。

タテワキ

ある報告書によると、ネットで誹謗中傷のバッシングをする人たちに最も多い人物像は、平均年収500万から600万。

イズミダ

概ね高学歴、社会的地位も高い。

ハザカイ

つまりごくごくフツーの人なんですよ。

カンノジ

だったら君らは違うだろ。年収低い。一流大学卒でもない、社会的地位は最下層。

他の全員

カンノジ

………。(ムツとして聞いていたがカンノジに背を向けるようにまたスマホに戻る)  
ミーティングは？ 次のデモの作戦を話し合わなきゃ。ツイッターよりミーティング。そうだろう？ わかつてる？

他の全員  
……………。

× × ×

ノジマ  
この日、初めてキツタカ・タカシに会った。それまで彼の行動を把握するために何度か曜日を変えて行確はやつてたんだが、面と向かって会ったのは初めてだ。

コザクラ  
どうして会うことにしたんですか？

ノジマ  
この男に会おうと思つて会つたんじゃない。たまたまやつてきたのがキツタカ・タカシだった。

クズネ  
どういうことですか？

ノジマ  
真ん中の女性は、俺の娘だ。

他の全員  
……………。

ノジマ  
結婚したいと思つてる人がいるから会つてほしいと言われて、待ち合わせ場所に行つたらこの男がやつてきた。

コザクラ  
娘さんの恋人がキツタカ・タカシ……………。

オキツ  
恋人の名前も聞いてなかったんですか？

ノジマ  
フリーで記者をやつてる。聞いていたのはそれだけだ。だから目の前にキツタカ・タカシが現れたときは何の冗談だと思つた。

アガタ 能島さんが行確してたことは気づかれてないのね？

ノジマ それは大丈夫です。この日も急な仕事が入った振りをして、一緒に食事する予定だったんだが早々に切り上げた。

クズネ この写真、3人で何見てるんですか？

ノジマ 娘がデモに参加したときの写真がネットに上げられたんだ、実名と娘が勤める学校名も一緒に晒された。

コザクラ ……じゃ娘さん、今学校で大変なことになってるんじゃない？

ノジマ それはまだ何も聞いてない。実は娘がデモに参加してることもまったく知らなかった。今回の調査のことで水梨から送ってもらったデモの動画を見て初めて娘がいると気づいたんだ。

他の全員 ……

アガタ わかりました。ただ、面が割れてしまった以上、能島さんはキツタカ・タカシの行確から外れてください。

ノジマ 了解。ただ、キツタカ・タカシの調査は独自で続けます。それは外れなくていいですか。

クズネ いよいよ能島さんは興信所と同業者つてことですか。

ノジマ 葛根。笑えない。

アガタ これまでどおり、小桜・沖津との連携は取ってください。

ノジマ (ゴザクラ・オキツに)よろしく。

アガタ では全員、仕事にかかつて。

他の全員 了解。

カンノジ

× × ×

それ、いつまで続ける？ 作戦会議はどうする？ そんな中傷ツイート、どんなに送ったって、間違いなくスルーだよ。誰もまともに取り合わない。言いたいことなんて聞いてくれないって。

イズミダ

デモの声だつて誰もまともに聞いてくれなかったじゃないですか。いつもスルーされてたじゃないですか。

ハザカイ

そうですね。だけどこの方法なら相手がどう出るかはわからないとしても、少なくともダイレクトにこちらの主張は届けられます。

カンノジ

ダイレクトに届けたいんなら「勉強会をしましょう」とか「シンポジウムやりませんか」とか、いくらでも健全な方法あるでしょ？

ハザカイ

私たちがそういう提案をしたとして取り合ってくれると思います？ 私たちは年収低い、一流大学卒でもない、最下層の人間なんですよ。

カンノジ

悪かった。さっきの言葉は取り消す。ごめん。申し訳ない。この通り。

タテワキ

いいですよ、事実そうなんだから。でも私たちはこの方法を続けます。ど

んな結果になるかはわからないけど頑張つて続けます。

カンノジ 俺はそんなの認めないよ。絶対に認めない。

他の全員 ……………。

イズミダ だったら官司さんがこの会を退会すればいいんじゃないですか。

タテワキ・ハザカイ ……………。(止まってカンノジを見る)

イズミダ (カンノジに) そう思いませんか？

タテワキ 異議なし。

ハザカイ 異議なし。

カンノジ ……………。(ややあつて、憤然と出ていく)

× × ×

他の面々はすでに退出していて、オフィスにはノジマ独り。

と、オキツがやってきて――

オキツ あ能島さん、まだ出てなかつたんですね。

ノジマ ああ。

オキツ 相当ショックですよねえ、また独身の僕には全然想像つきませんが。それに娘さんもまたショックですよ、早々に引き上げたんでしょう？

ノジマ 沖津さ。さっきの写真、撮ったのおまえだろう？

オキツ ……………。

ノジマ 一度俺に「能島さん、今どこにいるんですか？」と電話してきたことあつたじゃないか。あれ、俺をつけてたんだよな。行確してた。

オキツ 能島さん。

ノジマ 何だ。

オキツ さすがです。(一瞬あつてバレてましたかあ。

ノジマ バレバレだ。しかもつけるべき俺を見失うところも、それを挽回すべくいけしゃあしゃあと電話してきて居場所聞き出そうとするところも実におまえらしい。だからおまえさ、1個でいいから「コレ得意」つてのを早くつくれ。頼りなくてすいません。

オキツ で今度からもつとうまく俺をつけれ。

オキツ 勉強します。

ノジマ までも、あの写真撮られた日は気づいてなかったが。

オキツ あもう能島さんの行確しませんよ。

ノジマ なんで。阿方さんの命令じゃないのか？

オキツ でしたけど、ほんの今、「能島さんの行確は終了」つて言われましたから。もうお役御免です。

ノジマ  
引き継ぎを公安にでも頼んだかな。

オキツ  
え、能島さんの行確、まだ続くんですか？

ノジマ  
そりゃそうだろう。おまえが撮った写真のおかげで俺はますます危うい  
立場に置かれてしまったからな。

オキツ  
すいません。

ノジマ  
行くぞ。

オキツ  
はい。

ノジマ、オキツ、出ていく。

× × ×

と、出ていったカンノジが憤然と戻ってきて――

カンノジ  
おかしいよね、おかしいよね？　なんで俺が退会？　どう考えても間違っ

たところに火の粉が降りかかっているよね？

イズミダ  
ぎゃぎゃーうるさいんですよぎゃつきから。必死でコメントまとめてるのに頭  
ン中とちらかつちやうじやないですか。

ハザカイ  
ここに居座るんなら官司さんも自分のことしか考えてない議員たちに言  
いたいこと呟いてくださいよ声高に。

カンノジ 俺はやらない。やるわけがない。

タテワキ だったら邪魔です、退会です。お疲れさまでした。

カンノジ 目を覚ませよ！

イズミダ だから逆だつて！ 僕たちが目を覚まさせるんです、あいつらの。

カンノジ ……………。(呆れる)

他の全員 ……………。(スマホに戻る)

やがてカンノジもスマホを取り出して奇立ちを露わに操作しはじめる。  
と、キツタカが入ってきて――

キツタカ お、ついに官司先輩も合流してくれたんですね。

カンノジ 違うよ、今俺が見てるの、マッチングアプリ。

ハザカイ・タテワキ はあ？

カンノジ この人たちもどんだけ本当のこと書いてんのかね。

キツタカ 先輩、そういうのよく利用してるんですか？

カンノジ 一回もやったことないよ、俺こういうのまったく信用してないから。橘高くん、君なんだよね、泉田くんを唆したの。

キツタカ 違いますよ。

カンノジ 泉田君にそんな頭はない。

イズミダ 馬鹿にしないでください。

カンノジ

君たちはいったい何がしたいんだ？ 泉田くん、代わり映えない抗議デモを続けたってそれはただの自己満足だ、君そう言ったよね？ じゃ君たちがやってみることは何だ？ それこそただの憂さ晴らしだ、根拠のない悪口を投稿しまくってさぞかしい気分なんだろう？ 満たされるよな？ 満足だよな？ 自己満足だよな？

キツタカ

いいじゃないですかそれで。大きな進歩ですよ。

カンノジ

進歩？

キツタカ

インターネットが普及したことで個人個人が誰にも遠慮せず意見できる世の中になつたんです。

カンノジ

確かに遠慮はしてないよな、人の心を思う存分踏みこむてるんだから。

キツタカ

個人として意見できるってことは個人として問題意識を持ったことです。素晴らしいじゃないですか。

カンノジ

じゃあネットがなくても意見できるのか？ ネットの中と同じように君たちは現実社会でも意見できるのか？

キツタカ

できますよ、当たり前じゃないですか。

カンノジ

(イズミダに)現実社会でも意見できるのか？

イズミダ  
できます。

カンノジ  
（ハザカイに）意見できるのか？

ハザカイ  
できます。

カンノジ  
（タテワキに）意見できるのか？

タテワキ  
できます。

カンノジ  
だったら丸1週間、いや三日でいい、インターネットを完全に遮断して時

を過ごしてみろ。そうなくてもそこには充実してる自分が、満足してる自分  
分がいて自信を持って言えるか？ 君たちがご満悦なのはネットの中だ  
けじゃないか。

キツタカ  
ネットだって現実ですよ、ネットも含めての現実社会ですよ。

カンノジ  
だったらハッシュタグなんか付けて会の名前を都合よく利用するんじゃない  
い、堂々と実名で意見とやらを投稿しろよ。

キツタカ  
僕は物書きです。自分の言葉には責任持ちますよ。

カンノジ  
君たちは？ 実名で意見できるのか？

イズミダ・ハザカイ・タテワキ  
……………。

キツタカ  
彼らは物書きじゃない。立つてる土俵が違うんだから。

カンノジ  
だいたい君は何なんだ。潜入取材とか言いながら「人権理解を深める  
会」を犯罪集団もどきに仕立てたいのか？ 書きたいのはそのルポか？

君の目的はどこにあるんだ？

キツタカ 決まってるじゃないですか。現実社会をより良くしたい。ただそれだけです。彼らだつてそうですよ。

カンノジ そのためならどんな方法を採つたつて構わないつてことにはならない。泉田くん、言ってみてくれ。君はいつたい何が怖いんだ？

イズミダ どういう意味ですか？

カンノジ 自分の思うようにならない今の毎日。自分の理想とはかけ離れている今の自分を取り巻く環境。それが生み出すのは、このままでいいのかという焦りだ。不安だ。それはやがて、きつといつかは自分の存在さえ押しつぶしてしまうかもしれないという恐怖を自分に抱かせる。そしてその恐怖が言いようのない怒りを生み、ネットでの暴力を蔓延させるんだ。

キツタカ 何か言つてあげなよ、泉田くん。

イズミダ 御託はもういいです。

カンノジ (ややあつて) わかった。君たちとはこれでサヨナラだ。

カンノジ、一切のためらいなく、即座に部屋を出ていく。

# 9

ノジマ、外を歩いている。ふと気になって足を止め、後ろを振り返る。

と、あちらこちらから黒目線の人たちが行き交う。時折、立ち止まる者もいるが、誰もノジマを気にすることなく通り過ぎていく。

ノジマ、スマホで電話をかけて――

## ノジマ

能島です。……阿方さん、不躰にズバリ聞きます。俺まだ行確されますか？……ごもつとも。そりやそうです。「してない」と言われてもホントはしてるだろうと私は疑う。「してる」と言われればしてなくせに思う理由がない。つまりどつちみち私は行確されてると思って毎日行動するしかない。……いや初めて行確される身になって初めて思いましたが、ヤなもんですね、誰かに監視されてると思いながら生きるのは。……忘れてください、他愛もない愚痴です。ただ、これだけは言っておきます。たとえ娘がつき合ってる男であっても、微塵も私情は挟みませんので。そこまで疑われたら、私はこれまでのキャリアはすべて無駄だったと思うしかない。そう思ってますので。……はい。では。(切る)

やがてノジマ、再度後ろを確認してから歩き始める。

× × ×

舞台奥にパソコンの置かれたデスクが横一列に並んでいる。それぞれのデスクには黒目線の人たち。その前にユラ、独り立っている。

と、ハンヌキ、カザミが現れて――

カザミ

どうしてこんなことになるんですかね、あなたは。これはもう看過できませんよ。苦情の電話が頻繁にかかってくる、ネットでも学校そのものが厳しい批判に晒されている。鍋木さんのときの比じゃないですよ。

ユラ

学校のホームページに載せることはできませんか。これは私個人のことであつて学校とは一切関係ありません、と。

カザミ

そんなもの載せません。

ユラ

でも学校も被害者にされてしまったわけですから、弁明すべきだと思うんです。

カザミ

そんなことしたら火に油を注ぐだけでしょう。

ハンヌキ

海藤先生、ここは静かに、冬眠するようにやり過ぎましょう。

ユラ

でも風見先生、今看過できないと仰いましたよね。看過できないのに学校は何もしない。そういうことですか。

カザミ

何かするとしたら海藤先生、先生の進退をはっきりさせるってことじゃない

いんですかね。

ハンヌキ 風見先生。それも冬眠。冬眠しましょう。

カザミ 向いてないんですよ教師に。

ハンヌキ 風見先生。

カザミ ということでは学校としては冬眠しますんで、海藤先生個人も「個人の

自由」だの「基本的人権」だの「法に触れてない」だの、そういう弁明とか  
言い訳とか、一切発信しないでしばらく冬眠してください。

ユラ 私は泣き寝入りしたくありません。

カザミ・ハンヌキ ……………。

ユラ このままでは理不尽すぎます。

カザミ いいですよ、休職でも退職でもする気があるんですたら。

カザミ、追うようにハンヌキ、去っていく。

× × ×

と、入れ替わるようにキッタカが現れて――

キッタカ 冬眠？

ユラ 黙って何もせずただただ時間をやり過ぎせ。

キツタカ 何だよそれ。君は言われなき中傷を受けてるんだ。言いがかりをつけてくる連中にはきつちり反論するべきだ。

ユラ 二度とデモには参加しないでくれとも言われた。

キツタカ ほんとに腐ってるな日本の教育は。基本的人権はどうなってるんだ。

ユラ 私がおかしいの？ 学校じゃ何かあるたびに私は自分をごまかし続けなきゃいけないってそれが苦しいのに、ほかの先生たちは本心はわからないけど決して従順な姿勢は崩さない。

キツタカ 駄目だよ、事なかれ主義の学校体質に染まっちゃ。

ユラ それはわかってる。わかってるんだけど折り合いつけるのがどんどん難しくなってくるんだよね。

キツタカ ちよつと待つて。

ユラ え？

キツタカ 君がデモに参加してるって君のお父さんはどうやって知ったんだ？ あの写真がネットに上げられる前から知ってたんだらう？

ユラ ……そう言えばそれは聞いてない。

キツタカ (はつと) 官調だ。お父さん官調なんだよね？ 官調がチェックしてるんだ。官房情報調査室。

ユラ まさか。

キツタカ そうだよ。君のお父さんの部署は「改憲反対」を訴えてる「人権理解を深める会」の抗議デモを何らかの方法で調べてる。

ユラ ……………。

キツタカ 公安や官調はチームで動くんだ。そしてどのチームが何を調査してるかはお互いに決して教え合わない。君がデモに参加してることを知ってるってことは、君のお父さん自身が「人権理解を深める会」を調べてるチームの一員なんだ…………。

ユラ じゃあお父さん、このあいだ会ったその前から橘高さんのこと知ってたってことか？

キツタカ そういうことになる。そうだよ、それで合点がいく。あの日もお父さん、食事キャンセルして途中で帰ったじゃないか。

ユラ あれはホントに仕事だったんだと思うけど。

キツタカ 実は少し前から僕自身が誰かに尾行されてる。

ユラ そうなの？

キツタカ や、確信はない。はつきりとした確信はまだないんだけど、今でもその気配は時々感じる。

ユラ ……それって、官調は「人権理解を深める会」の個人個人のことまで調査してるってこと？

キツタカ だとしたら誹謗中傷のコメントを送りつけてくる奴らにはやっぱりきつち

り反論したほうがいい。

ユラ でもここで反論すれば学校への批判もますます拡大するよね。

キツタカ これはあくまで君個人の、そしてどうやら「人権理解を深める会」の問題

にもなつてきている。でもこれは、会がその場しのぎのいい加減な会じゃないことを表明するまたとないチャンスでもある。君も君の考えをこまかすことなくきちん

と表明したいんだろ？  
それはもちろん。私個人への誹謗中傷は覚悟してる。

キツタカ よし、このことを会のメンバーにも伝えてくる。会としても次の抗議デモ

でに自分たちの考えをバンバン知らしめたほうがいい。

キツタカ、去っていく。

× × ×

とユラ、スマホを手に持ち、黒目線の人たちへの反論を語り始める。

黒目線の人たちは、パソコン画面を見つめ、彼女の言葉にキーボードを叩く音で応じ始める。応じながら少しずつデスクを前へ寄せ、ユラとの距離を縮めていく。

ユラ

私が憲法改正反対のデモに参加したことでたくさんのご意見をいただき、驚きとともに困惑しています。（\*\*）本来ならその一つ一つにお答え

すべきなのかもしれませんが、私が今回、皆さんにお伝えしたいことはたった一つです。(\*\*)私にも基本的人権があります。(\*\*)抗議デモという社会運動に参加する権利はあります。(\*\*)教師であつても地方公務員法、教育基本法に反しない限り、それは同じです。(\*\*) \*ですから私は今後でも参加したいデモや集会には参加するつもりです。(\*\*)もちろん教職から離れるつもりもありません。(\*\*)私としては私の個人的なことより、憲法改正について多くの人と建設的な意見交換を願っています。(\*\*\*)

ユラ、スマホをしまう。

× × ×  
と、入れ替わるようにノジマが現れて――

ノジマ

どうしてあんな奴らに反論なんかしたんだ？ 待ち構えてるハイエナに餌をばらまくようなもんだぞ。

ユラ

……びっくりした。予想はしてたけどホントにルールもマナーもないんだね。教師と社会運動の関わり方、憲法改正の是非なんて誰一人書いてこない。「辞めろ」「消えろ」「いなくなれ」「死んだら許してあげます」、

学校でのいじめと何も変わらない。

ノジマ 納得いかないだろうが、学校の言うとおり何もしないのが最も賢明なんだ。おまえが傷つくだけだぞ。

ユラ お父さん、聞いていい？

ノジマ え。

ユラ 私にデモに参加したことあるかって聞いたのはどうして？ 私が参加したこと知ってたんだよね。どうして知ってたの？

ノジマ ……偶然、映像を見る機会があった。

ユラ 仕事で？ お父さんたちは「人権理解を深める会」について調べてるの？

ノジマ ……。

ユラ 橋高さんや会のメンバー個人個人についても調査してるの？

ノジマ ノーコメントだ。

ノジマ、去っていく。

× × ×

と、入れ替わるようにカザミ、ハンヌキが現れて――

ハンヌキ 先生、残念です。どうして独断で走ったんですか。

ユラ すみません。

ハンヌキ ほとぼりが冷めるまでもに闘う、共闘しなければ長引く、先生が、学校がどんどん信用を失っていくだけなんですよ。

ユラ 学校は何の関わりもないことははっきりさせておかないと――

カザミ 記者会見を開いてください。

ユラ 記者会見？ 私ですか？

カザミ そうです、あなた個人で。先生は今、学校は何の関わりもないと言いましたけど、あなた本校に勤務してるじゃないですか。十分関わりはある。みんなそう思ってるから学校にも批判がくるんです。そんなこともわかってなかったんですか？

ユラ ……………。

カザミ でもここはあなたの考えに乗ります。どこまで通用するかわかりませんが、学校は何ら関係はない。すべてはあなた個人の問題。そのことをはっきり記者会見で言ってください。もし、関係はあるじゃないですかと突かれたら、そこまで考えが及んでいなかった、すべては浅はかな私の考えが引き起こしたことだと、そう釈明してください。

ユラ でもそれは、結局、理不尽な誹謗中傷に屈した、屈服させられたってことになるとはならないですか。

カザミ 理由づけはご自由にどうぞ。

ハンヌキ ご検討、よろしくお願ひします。頼みましたよ。

カザミ、ハンヌキ、去つていく。

× × ×

とユラ、スマホを手に持ち、黒目線の人たちへ語り始める。

黒目線の人たちはすかさず彼女の言葉にキーボードを叩く音で応じる。一段とヒートアップしている。ユラとの距離はどんどん縮まっていく。

ユラ

皆さん、どうか学校を批判するのはやめてください。(\*\*\*\*)教師である私が憲法改正反対のデモに参加したのはすべて私の意志、私の責任で行ったことです。(\*\*\*\*)学校はむしろ、できれば参加しないでくれと私に再考を促しました。(\*\*\*\*)それを私が押し切つてデモに参加したんです。学校に何ら非はありません。(\*\*\*\*)教師が社会運動に参加する。そのことには人それぞれ考えがおりだと思ひます。(\*\*\*\*)でも今回のことは本当に学校は何ら関係ありません。どうか不毛な批判はやめてください。(\*\*\*\*)

ユラ、スマホをしまふ。

× × ×  
と、入れ替わるようにキツタカが現れて――

キツタカ 記者会見をやったほうがよかつたのに。

ユラ 考えたんだよ。よくよく考えたんだけど、「その学校に勤務してることはどう捉えてるんですか？」、そう面と向かつて問い質されたら返す言葉がないと思った。きつと私はたじろぐ。

キツタカ そうか。それならそれが君の闘い方だ。何も間違つてない。こうなったら個人としてバンバン反論するんだ。

ユラ バンバン？

キツタカ そうだよ、攻撃の矛先が君にしか向かないくらいに。

ユラ でも喧嘩を買えば買うほど私へのバッシングはますます暴走しかねない。君はまだ頑張れるだろう？

ユラ 頑張るよ。とつくに心は折れかかつてるけど。でも私は「人権理解を深める会」のメンバーがやつてるような暴言まがいの意見はしないよ。

キツタカ それならそれでいいよ。

ユラ 会のメンバーのツイート、あれ、あなたが煽つてるんだよね？ しばらく自分のことだけで精いっぱい見てなかったけど、あれはひどすぎる。訴えら

れるレベルだよ。そもそも意見でも何でもない。私に「きつさと死んでくれ」と言ってくる極端な人たちと同レベル。

キツタカ

何言ってるんだ、極端なほうがいいに決まってるじゃないか。この抗議デモを発端とする誹謗中傷がますます炎上すれば、その成り行きを誰だつて無視するわけにはいなくなる。

ユラ

わざと炎上させてるってこと？ ちよつと待つてよ、いったい何のために？

キツタカ

ほとんどの人間はネットの炎上なんて自分とは無関係だと思ってる。今回の君がそうだったように、いつ自分が当事者に追いやられるかわからないのに。そういう人たちは当事者のいたたまれなさを、押し寄せてくる恐怖をわかってないんだよ。

ユラ

……………。

キツタカ

事は大きく燃え上がったほうがいい。そのほうが影響力も大きくなる。期待してるよ。

キツタカ、去っていく。

× × ×

と、入れ替わるようにノジマが現れて――

ノジマ 由良。いつまで誹謗中傷への弁明を続けるんだ。キリがないなら、大丈

夫なののおまえは。

ユラ 私が弁明してるのはその必要があると思っただけだよ。ただの罵詈雑言に闇雲に答えてるわけじゃないし、いつまでも「炎上が続け、燃え盛れ」と思ってるわけでもない。

ノジマ 弁明を続けろと言ったのはキツタカくんなのか？

ユラ そうだけど私は言われたとおりにしてない。このことでは彼と考え方が違ってる。私は私の基本的人権を守りたい、それをわかってもらいたい、ただそれだけ。でももう疲れちゃったよ、さすがに。

ノジマ (ややあつて)おまえはやっぱ俺に似たんだな。

ユラ 何よ急に。

ノジマ おまえのお母さんは喧嘩なんて絶対にしない、絶対に人を攻撃しない、そういう人だった。

ユラ そうか、残念。私も母さんに似ればよかったなあ。そしたらもつと平和な人生送れた。

ノジマ もう遅い。

ユラ お父さん、唐突に聞くけど、お父さんたちは私たちを、日本じゅうの人を守るために働いてるんだよね。

ノジマ  
ほんとに唐突だな。

ユラ  
もし一般人の個人を何らかの理由で調査したりすることがあったとしても、それは私たちを、日本じゅうの人を守るためなんだよね。

ノジマ  
お父さんはそう思ってる。

ユラ  
そうか。それならいいんだ。

ノジマ  
キツタカくんとは最近どうなんだ。頻繁に会ってるのか？

ユラ  
ここんどこ会ってない。

ノジマ  
由良、俺も一つだけ確認しておきたいんだが、俺に会ったときも彼、キツタカ・タカシと名乗ったじゃないか。おまえは本当に知らなかったんだよね、あれは本名じゃないって。

ユラ  
(驚いて)……本名じゃない？

ノジマ  
安斉達成(あんざい・たつなり)、それが彼の本名だ。

ユラ  
……確かなの？

ノジマ  
知らなかったんならそれでいい。そのほうがいい。悪かったな、変なわだかま  
りを残すようなこと聞いて。

ノジマ、去っていく。ユラ、呆然とノジマの去ったほうに歩みかけるが立ち尽くす。

黒目線の人たちのデスクは今やユラを呑み込まんばかりに近づいている。

# 10

ノジマ、外を歩いている。ふと気になって足を止め、後ろを振り返る。

と、あちらこちらから黒目線の人たちが行き交う。

ノジマ、しばし辺りを窺っていたが、やがて歩き始める。

× × ×

オフィス。自席に就いてパソコンに向かっているクズネ、コザクラ。

と、オキツが駆け込んできて――

オキツ

葛根さん、小桜さん、急転直下つすよ急転直下。すぐ帝都新聞ネット版、見てくださいすぐに。

クズネ・コザクラ

……………。(パソコンでサイトを開いて見る)

オキツ

(自分でも開きつつコンテンツの上から三つ目、新連載のページ。「官房情報調査室の正体 その謎のペールを剥ぐ」

クズネ

何だよ、これ。うちのことが書かれてるのか？

オキツ

そうなんすよ。今日の連載1回目から一般人も調査対象、一般人に尾行までして情報収集などと書かれています。

コザクラ

どういうこと？「人権理解を深める会」を調査したことも出てきてるじゃない。いつの間にか誰が……………。

オキツ それなんすよそうそう、筆者見てください筆者、中身もびつくりなら筆

者もこれまたびつくり。

クスネ 安斉達成。

コザクラ キッタカ・タカシの本名……!!

オキツ びつくりでしょ。今までペンネームしか使ってこなかったのに初めて本名で書いてる。

コザクラ つまり、キッタカこと安斉達成は、はじめから官調の実態を暴くことが目的だった……?

クスネ この連載ルポのために安斉は「人権理解を深める会」に接触し、憲法改正反対の抗議デモにも率先して加わった……。

コザクラ そして憲法審査会の民治党議員に誹謗中傷のツイートで攻撃するよう煽って仕向けた……。

オキツ ですよね、そういうことすよね。

コザクラ 潜入取材と言ってたのは言わば「おとり」、この連載のための隠れ蓑にすぎなかった……。

3人 ……………。

クスネ やるな。

オキツ 上げえつすね。

コザクラ いやいや感心して場合じゃないわよ、私たちいつたいどうなるのよ？

オキツ どうなるって？

コザクラ こんなにあることあること書かれて、官調の仕事内容暴かれて、このチームの守秘義務はどうなってるんだって話に絶対なるでしょ責任問題に。(クスネ)になりますよね？

と、アガタ、ミナシ、ノジマが入室してきて、一同立つ。

アガタはタブレットを手にして——

アガタ 昨日までの報告を。と言いたるところだが、(タブレットを示し)もう読んで

るわね、帝都新聞ネット版のトンデモ記事「謎のボールを剥ぐ」。何なの謎のボールって。こんなに簡単に引つpegされるボールじゃ謎もへたくれもない。そうよね？

他の一同 ……………。

アガタ 幸い、重要機密についてはまったく掘んでないようだが、書いてあることは

深掘りはできてないとはいえデータラメではない。特に一般民間人の個人にまで調査が及んでいると書かれてる部分。これが大問題。

他の一同 ……………。

アガタ まあいいわ。座つて。この件は後でまた話すとして昨日までの報告を。

コザクラ (立つてアガタのタブレットを指し) その記事が出てしまった以上、報告することに虚しいものがありますが、懸案だった野党にとつての「ザッピングザッ

プ」、その可能性はないです、ゼロと言つていいと思います。

アガタ (大きな声の独り言のようにはいはい、そりやそうでしょうよ。

コザクラ 先鋭化の兆しがあった「人権理解を深める会」がみるみる弱体化しましたから。

アガタ そうそう。それで安心したのが馬鹿だった。馬鹿だった。

コザクラ 今は民治党議員への誹謗中傷ツイートも思い出したように呟いてる程度です。

アガタ 次。

クスネ (立つて) まず実質的リーダーだったカンノジ・アキラが会を離れた時点で

求心力が一気に低下、会の勢いも活動内容も急速にダウンしました。

アガタ そう、それでもうケリがついたと思つたんだよ我々は。馬鹿だから。

クスネ カンノジに取つて代わるかに思われたキツタカこと安斉達成も今じゃほと

んど会には顔を出してません。顔を出さなくなった理由はもうみんなわかつてると思ひますが。

アガタ わかつてるよ。十分わかつてしまったよ。わかるのが話にならないくらい遅い

けど。次。

オキツ

(立って)野党・立民党の側でも「ザッピングザップ」に関わるような動きは今のところまったく見られません。……………。

アガタ

なに？

オキツ

何か言うのかなと思って――

アガタ

続けて。

オキツ

もつとも「人権理解を深める会」とは別の団体を相手に動く可能性は今後もゼロではないので立民党の外部組織との関係は今後も定期的に探ります。

コザクラ

(立って)国民党についてもまったく同じです。

アガタ

わかった。ほかには？

他の一同

……………。

アガタ

能島さん、何か言いたいことはありませんか。

ノジマ

(立って)安斉達成の件は、私の娘との繋がりが出てきてしまつて、そのことがみんなを油断させることになつたかもしれないと思つてる。(頭を下げ)申し訳なかつた。

オキツ

能島さんが謝ることじゃないですよ。

ノジマ

いや、たとえば娘がつき合つてる男であつても微塵も私情は挟まない。阿方

さんにはそう啖呵を切ってたんだが、私自身どこかで娘のことが心配で、気にかかつて、仕事に集中できてなかったのかもしれない。情けない話だが、私はそういう父親のほうが好きですけどね。

ノジマ そんなに甘くないんだ、この仕事は。任務によってはある日突然、もう二度と家族と会えなくなる、そんな日が来ることも覚悟しておかなければならない。甘かったんだ私が。

ミナシ 能島さんは本当に以前から安斉と接触があったわけじゃないんですね？ 今回の記事についてもまったくの無関係。

ノジマ それは誓ってまったくくない。

アガタ 一時期、私は能島さんと安斉達成の関係を正直疑っていたが、それは完全に的外れだった。

ミナシ でも誰かと繋がってますよね、一人でここまで調べられますかね。

アガタ 内部の誰かと繋がってる可能性は否定できないが、それは今から調査に入る。でも、藤巻教授の情報が入りくされた件。その内通者はわかった。

クスネ 誰だったんですか？ 教えてください。

ノジマ (再び立って) 私だ。

他の一同 ………………！(驚く)

クスネ ホントなんですか、なんでまた……………？

## ノジマ

帝都新聞の知り合いから探りを入れて概要を話した。理由は葛根、君が言ったこととまったく同じだ。国を守るのが我々の仕事。そう言いながら一般人の調査対象が増えてきて疑問に思うようになった。それじゃあ国つて何だ、国民じゃないのか。どんな時の政権を守ることに傾いてきてるんじゃないのか。この仕事は政権の保身の片棒を担いでるだけじゃないのか。それで話した。

× × ×

街角にユラとアンザイ(IIキッタカ)、面と向かい合って立っている。

ユラ 読んだよ、新連載。

アンザイ ありがとう。

ユラ あのルポが目的だったとはね。

アンザイ 否定はしない。

ユラ 父が官調にいること最初から知ってたんだよね、安斉達成さん。

アンザイ 否定はしない。

ユラ あなたが今の社会に対して矛盾を感じてること、どうしようもない怒りを抱えてること、そしてそれをなんとかしなければと自分を駆り立ててい

ること。今思えばそこに惹かれたのかもしれない。

アンザイ たまたまいろんなことが同じ頃に重なったんだ。そのためだけに君に近づいたわけじゃない。

ユラ 初めて本名で書いたのはどういう心境の変化？ もう恐れるものではなくなった、仮面は取ろう、そういうこと？ それとも抱えてる恐怖と、そのもととなつてる怒りに本気で立ち向かおう、その証<sup>あかし</sup>？

アンザイ 今でも怖い、恐れてるよ。何か大きな流れが、自分をたやすく呑み込んでしまう大きな流れが、自分の知らない目に見えないところづくられていく。誰も、ほとんどの人が気づかないところで。

ユラ ……………。

アンザイ でも君は違つた。その大きな流れに気づいて、それと闘つた。一人で。たやすく呑み込まれてたまるものかと、たった一人で。しかも隠れ蓑なんか使わず本名で、自分自身を晒して。

ユラ ……………。

アンザイ だから僕は――

ユラ わかつた。話してくれてありがとう。

アンザイ これで終わりなのか？

ユラ 新連載のルポ、とてもいい仕事だと思う。だから。私は私で闘う。

アンザイ ……………。

ユラ それじゃ。

ユラ、去っていく。アンザイ、それを見届けていたが、やがて反対方向へと去る。

× × ×

別の場所をノジマ、歩いている。ふと気になって足を止め、後ろを振り返る。

それから足早に歩いていく。

後ろからユラがついてきている。ユラ、足を止め、前方を窺っていると、別の方角から驚きの声が上がって——

ノジマ 由良……………！

ユラ ……………。(振り返って見る)

ノジマ おまえだったのか。おまえがずっと俺をつけてたのか？

ユラ 私、刑事にはなれないか。お父さんのような仕事に転職しようかなど考えてたのに、ほんのちよとだけど。

ノジマ なんで……………？

ユラ 毎日じゃないよ。私だってそんなに暇じゃないし学校だってあるし。たまに、休みの日とか夕方からとか。

ノジマ なんてつけてた？

ユラ

疑ってたんだよお父さんのこと。私たちを、日本じゅうの人を守るために働いてるって言ってたけど、それはホントなのか、直接お父さんに聞く前から疑ってた。だから日頃、どんな仕事してるのかなって。というか、わかんなくなっちゃったんだよ私、どうしたらいいのか、何を大事にすればいいのか。私、ほんと頭固い、ほんと馬鹿だよ、ほんとに融通が利かない。

ノジマ

……………。

ユラ

自分の意志を通すって苦しいね。でも自分を曲げなきゃいけないと思うのはもつと苦しいんだよ。

ノジマ

……………。

ユラ

安斉達成。

ノジマ

ん？

ユラ

さっき会ってきた。

ノジマ

そうか。

ユラ

新連載のルポも読んだ。だからお父さんたちの仕事もそれで少しはわかるんじゃないかと思う。

ノジマ

だったら親を尾行するのはもうおしまいだ。

ユラ

おしまいだね。(一瞬あってねえ、どうやったら30年以上もの長い間、闘い続けられるの?)

ノジマ

闘つてなんかいない、買いかぶりだ。俺も流されて呑み込まれてまた流されて、ここにいます。

ユラ

……………。

ノジマ

不思議だよな。誰にだってたぶん、心から熱狂した日々はきつとある。おまえが初めて教師として教壇に立つてからの日々。仲間たちと無我夢中になって一つのことを追いかけてた日々。だけど、その日々もいつかは失われていく。それこそ誹謗中傷のツイートに明け暮れてご満悦になっている連中にも熱が冷める時がきつと来る。そして俺もやつと気づいたんだ。

ユラ

気づいた？

ノジマ

俺はこの仕事に向いてない。向いてなかった。定年まであと2年だというのに、この年になってやつとわかった。はつきり、向いてないと。人を疑い続けるのは気持ちが悪れる。熱狂していた「あの日々」でいったい何を俺は得ようとしてたんだろうな。国のためといいながら本当に国のためになっているのか、果たして国とは誰のことなのか。そして、どんどん冷めていく。

ユラ

……………私にも「あの日々」は何だったのかと、「あの日々」で何を、いったい私は何を得ようとしていたのかと、そう思う日はきつと来る。

ノジマ

でも、何もこの年になるまで待つ必要はないんだ。生きてきた長さは関係ない。「あの日々」をどれだけ過ごしたかというその時間の長さも関係

ない。いつだって人は歩みを止め、思いどどまり、別の道へ歩き出していい。  
そう思わないか？

ユラ ……そうだね。たぶん、そうなんだと思う。

ノジマ だからお父さん、官調を辞めることにした。(一瞬あって)いいよな？

ユラ ……。(やあつて、うんうん、と頷く)

ノジマ じゃあ、帰ろうか。

ユラ ……うん。

ノジマとユラ、歩き出そうとして――

幕

#### 参考文献

- 『内閣情報調査室 公安警察、公安調査庁と三つ巴の闘い』 今井 良／幻冬舎新書
- 『正義を振りかざす「極端な人」の正体』 山口真一／光文社新書
- 『SNS暴力 なぜ人は匿名の刃をふるうのか』 毎日新聞取材班／毎日新聞出版

## 上演記録

2022年5月5日(木)～15日(日)／ザ・ポケット(東京都中野区)

【広島公演】5月19日(木)／広島市南区民文化センター(広島県広島市)

【長洲公演】5月21日(土)／ながす未来館文化ホール(熊本県玉名郡長洲町)

【米子公演】5月24日(火)／米子市民文化ホール(鳥取県米子市)

【宮崎公演】5月27日(金)／メディキット県民文化センター(宮崎県宮崎市)

【小林公演】5月29日(日)／小林市文化会館(宮崎県小林市)

【熊本公演】5月31日(火)／熊本市健軍文化ホール(熊本県熊本市)

【天草公演】6月2日(木)／天草市民センター(熊本県天草市)

## CAST

【官房情報調査室(官調)】

ノジマ・タクト	「能島拓人」	……………	奥村洋治	「おくむら・ようじ」
クズネ・センジ	「葛根宣司」	……………	長田典之	「おさだ・のりゆき」
コザクラ・モモエ	「小桜百恵」	……………	東 史子	「ひがし・ふみこ」
オキツ・ケンタ	「沖津健太」	……………	米澤剛志	「よねざわ・こうじ」
ミナシ・レン	「水梨 蓮」	……………	金原直史	「きんばら・なおふみ」

アガタ・マキエ 「阿方真喜恵」 …………… 関谷美香子 「せきや・みかこ」

【人権理解を深める会】

カンノジ・アキラ 「官司 暁」 …………… 松戸デイモン 「まつど・でいもん」  
ハザカイ・コトネ 「端境琴音」 …………… 綾城愛里奈 「あやしろ・えりな」  
タテワキ・カノン 「帯刀佳音」 …………… 原田佳世子 「はらだ・かよこ」  
イズミダ・コウタロウ 「泉田孝太郎」 …………… 小山広寿 「こやま・ひろとし」  
キツタカ・タカシ 「橋高隆志」 …………… 池永英介 「いけなが・えいすけ」

【真星高等学校】

カイトウ・ユラ 「海藤由良」 …………… 北澤小枝子 「きたざわ・さえこ」  
カブラギ・ミナミ 「鏑木美波」 …………… 綾城愛里奈 「あやしろ・えりな」  
フタバ・チヒロ 「双葉千尋」 …………… 東史子 「ひがし・ふみこ」  
サコウ・ヒトミ 「酒匂仁美」 …………… 増田和 「ますだ・あい」  
ハンヌキ・サトシ 「半貫聡史」 …………… 金原直史 「きんぱら・なおふみ」  
カザミ・エリコ 「風見江里子」 …………… 関谷美香子 「せきや・みかこ」

【そのほか・黒目線の人たち】

## STAFF

〔作・演出〕 古城十忍

〔美術〕 磯田ヒロシ

〔照明〕 磯野真也 アイス

〔音響〕 黒澤靖博 K Sound

〔衣裳〕 友好まり子 アトリエトモヨシ

〔舞台監督〕 尾崎 裕（東京公演）／渡辺 弘（地方公演）

〔ドラマトウルク〕 富貴純子

〔制作〕 藤川けい子

〔製作〕（株）オフィスワン・ツー

〔演出助手〕 日置なお／田邊かおり

〔舞監助手〕 窪田 亮（東京公演）／野口研一郎（地方公演）

〔衣裳助手〕 増田 和／船場未央

〔制作助手〕 上田貴大

〔小道具〕 原田佳世子／田邊かおり

〔大道具〕 伊藤幸夫 イトウ舞台工房

〔運搬〕 帯瀬運送(東京公演)／加藤運輸(地方公演)

〔イラスト〕 古川タク タクンボックス

〔デザイン〕 西英一

〔スチール〕 富岡甲之

〔舞台写真〕 黒木朋子

〔映像製作〕 後藤輝之 Gプロダクシヨシ／川田紀子／松本和也／野中正行

〔配信〕 EventBox 山内鷹／森田茂才

〔票券〕 川井麻貴 シーボーズ

〔ホームページ制作〕 吉田淳一

〔受付〕 船木文美／小島敦子／高木 愛／佐藤奈津子／志田さやか

〔協力〕 二二の会

〔マネージメント協力〕 希楽星／劇団唐ゼミ☆／HANATOMO演仕屋 (50音順)

〔ワンツエエンジェル〕 安藤聡一郎／武井高之／小笠原由季恵／伊勢崎健／大塚順一

／高宮香枝／天野真希／森田茂伸 米子舞台(有)／小野実／菊池悦子／

ふらんそわず／torima／ななな／クリオネ／てん子／ほか匿名の方々